

**HONDA**

OWNER'S MANUAL

**NC750X**

**NC750X Dual Clutch Transmission**



Honda 車をお買いあげいただきありがとうございます。  
安全で快適なバイクライフをお楽しみください。

安全で快適なバイクライフをお楽しみください。

この取扱説明書と共に「メンテナンスノート」  
を受取り、下記を確認してください。


- お車の正しい取り扱いかた
- 保証内容と保証期間
- 点検・整備について
- 車両受領書・保証書受領書の記入・捺印


安全運転の基本として以下は重要ですので、お  
守りください。


- この取扱説明書を、よくお読みください
- 取扱説明書の推奨手順に従ってください
- 安全に関する表示を理解し、守ってください

### 安全に関する表示

「運転者や他の方が傷害を受ける可能性のあること」  
を回避方法と共に、右記の表示で記載しています。こ  
れらは重要ですので、しっかりお読みください。

 **危険** 指示に従わないと、死亡または  
重大な傷害に至るもの

 **警告** 指示に従わないと、死亡または重  
大な傷害に至る可能性があるもの

 **注意** 指示に従わないと、傷害を受け  
る可能性があるもの

### その他の表示

**アドバイス** お車のために守っていただきたい  
こと

車の仕様、その他の変更により、この本の表紙や内容  
と実車が一致しない場合があります。

車を譲られる場合、次の方にこの取扱説明書およびメ  
ンテナンスノートをお渡しください。

この取扱説明書は、**NC750X** を中心に説明していま  
す。イラストは **NC750X** をベースにしています。

# 目次

安全なライディング P. 2

操作ガイド P. 12

メンテナンス P. 101

こんなときは P. 133

インフォメーション P. 145

スペック P. 159

索引 P. 162

# 安全なライディング

この章では安全な運転のために必要な情報を記載しています。  
安全のためによくお読みください。

安全上守っていただきたいこと .....	P. 3
安全運転のために .....	P. 3
運転するときの注意 .....	P. 5
アクセサリーと改造について .....	P. 10
積載について .....	P. 11

## 安全上守っていただきたいこと

安全のため、日常的に次の内容をお守りください。

- 道路運送車両法で定められた日常点検・定期点検を行ってください
- ガソリンの補給は、必ずエンジンを止め、火気厳禁で行ってください
- 排気ガスには一酸化炭素（CO）などの有害な成分が含まれているため、エンジンは、風通しの良い場所でかけてください

## 安全運転のために

- 走行中、運転者は両手でハンドルを握り、両足をステップに置いてください
- 同乗者が両手でからだを固定し、両足を後席用ステップにのせているか確認してください
- 急激なハンドル操作や片手運転などはさげ、安全な運転を心がけてください
- 同乗者、他の車両、歩行者などに対する配慮を欠かさないでください
- ウィンドスクリーン、フェアリングと車体の間に物を置かないでください。

## 乗車時の服装

運転者と同乗者は必ずヘルメットを着用し、天候や走行状況に応じ、安全性が高く運転操作のしやすい、被視認性の高い二輪車用の服装を着用してください。

### ヘルメット

安全基準を満たし、頭のサイズにあった視認性の高いもの

- 二輪車で PSC、SG マークか JIS マークのあるものを推奨します
- 正しくかぶり、あごひもを確実に締めてください
- 視界を妨げないフェイスシールドまたはゴーグルなどを使用し、眼を保護してください

## 警告

ヘルメットを正しく着用していないと、万一の事故の際、死亡または重大な傷害に至る可能性が高くなります。

運転者と同乗者は乗車時、必ずヘルメット、保護具および保護性の高い服を着用してください。

### グローブ

摩擦に強い皮製のもの

### ブーツまたはライディングシューズ

滑りにくく、くるぶしまで覆われたもの

### ジャケット・パンツ

プロテクターを備え、体の露出の少ない長袖・長ズボン

## 運転するときの注意

### 慣らし運転

適切な慣らし運転を行うと、お車の性能をより良い状態に保つことができます。

#### ■ 慣らしのポイント（走行距離 500 km まで）

- 急発進、急加速をさける
- 急ブレーキ、急なシフトダウンをさける
- 控えめな運転をする

### ブレーキ

次の項目に注意してください。

- 制動力を効果的に得るために前輪ブレーキと後輪ブレーキを同時に使う
- 不必要な急ブレーキ、急なシフトダウンをしない
  - ▶ タイヤをロックさせるなど、車体の安定性を損なうおそれがあります。
  - ▶ コーナリングの際は、コーナーの手前で減速してください。

- 雨天走行など滑りやすい路面に注意する
  - ▶ タイヤがロックしやすく、制動距離が長くなります。
- 連続したブレーキ操作をしない
  - ▶ 長い坂や急な坂で繰り返しブレーキをかけると、ブレーキの温度が上昇して効きが悪くなるおそれがあります。エンジンブレーキと断続的なブレーキ操作を併用してください。

#### ■ ABS（アンチロックブレーキシステム）

ABS は、直進制動時のブレーキのかけすぎによる車輪ロックを制御する装置です。

ABS を正常に機能させるため、必ず前後とも指定のタイヤ、スプロケットをお使いください。

- 制動距離を短くするためのものではない
  - ▶ ABS を装備していない車両と同様に、路面が滑りやすくなるほど長い制動距離が必要になります。
- 低速（約 10 km/h 以下）では普通のブレーキと同じ作動になる

- ブレーキ操作時に、レバーやペダルに反動が生じることがある
  - ▶ ABS が作動しているときの現象で異状ではありません。反動の強さは状況によって異なります。

### ■ エンジンブレーキ

スロットルを戻すと、エンジンブレーキが効きます。さらにエンジンブレーキを必要とするときは5速、4速・・・とシフトダウンを行ってください。急激なシフトダウンは、尻振りなどの原因や、エンジンやトランスミッションに悪影響を与えます。また、長い下り坂や急な下り坂などでは、断続的なブレーキ操作とエンジンブレーキを併用してください。

### ■ 雨天または水たまりを走行したとき

路面が滑りやすくなったり、ブレーキの効き具合が変化します。慎重なブレーキ操作を心がけてください。ブレーキの効きが悪いときは、ブレーキを軽く作動させながらしばらく低速で走行して、ブレーキを乾かしてください。

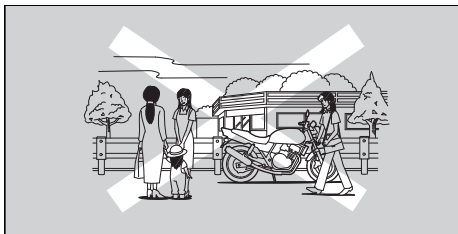
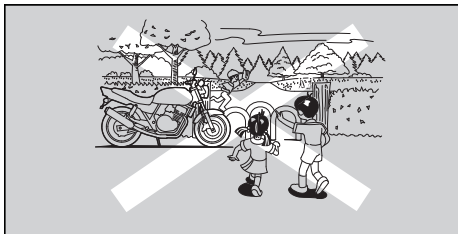
## 駐車するとき

- 交通の邪魔にならない平坦で足場のしっかりした安全な場所に駐車する
- やむをえず傾斜地や足場の悪い場所に駐車するときは、車の転倒や動き出しがないよう安全処置に十分注意する
- 盗難防止のため、車から離れるときは必ずハンドルロックをかけ、キーを抜く

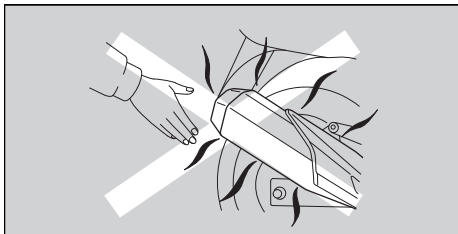
### ■ サイドスタンドでの駐車

1. メインスイッチを○(Off)にする。  
サイドスタンドを下げ、車の重量がサイドスタンドにかかるまで、車をゆっくり左に傾ける。
  - ▶ ハンドルを右にきった状態での駐車は、車が不安定になり、転倒するおそれがあります。
2. ハンドルバーを左いっぱいにする。
3. ハンドルロックをかけ、キーを抜く。▶ P. 71

- マフラーなどが熱くなっているので、他の方が触れることのない場所に駐車する



- エンジン回転中および停止後しばらくの間はマフラー、エンジンなどに触れない



## ⚠ 注意

マフラー、エンジン、ブレーキなどは、エンジン回転中および停止後しばらくの間は熱くなっています。触れるとヤケドを負う可能性があります。

- ・ マフラー、エンジン、ブレーキなど高温になる部分は冷えるまで触れないこと
- ・ 高温になる部分に可燃物が接触せず、他の方が触れることのないよう配慮すること

## 燃料補給およびガソリンの取り扱い

エンジン、燃料装置、触媒装置の損傷を防ぐため、下記に注意してください。

- 無鉛レギュラーガソリンを使用する
- 高濃度アルコール含有燃料を補給しない
- 軽油や粗悪ガソリン（長期間保管したガソリン）、または不適切な燃料添加剤を使わない
- 燃料タンクの中に、泥、ほこり、水などを入れない

## 警告

ガソリンは燃えやすくヤケドを負ったり爆発して重大な傷害に至る可能性があります。また身体に帯電した静電気の火花により引火する可能性があります。

ガソリンを取り扱うときは以下のことを守ってください。

- ・ エンジンを止め、火元を遠ざける
- ・ 給油は必ず屋外で行う
- ・ こぼれたガソリンは、すぐに拭き取る
- ・ 給油作業前に車体や給油機などの金属部分に触れて静電気を除去する

## Honda セレクタブルトルク コントロール

このシステムは、アクセルオンの状態で後輪の空転を検知した際に、選択したトルクコントロールレベルに応じて後輪への駆動力を制限します。

- トルクコントロールレベルを低く設定した場合、アクセルオンの状態で後輪が空転する場合がある
  - ▶ 運転技術、運転状況に応じてトルクコントロールレベルを選んでください。
- トルクコントロールは減速時には作動せず、エンジンブレーキによる後輪のロックは防止しない
  - ▶ スロットルを急に閉じる操作はさけてください。特に、滑りやすい路面ではさけてください。

- トルクコントロールは、急なスロットル操作や誤ったスロットル操作、道路状態などを補完するものではない
  - ▶ 天候や路面状況に対して常に十分な注意をしてください。
- トルクコントロールを停止状態（OFF）にすることで、ぬかるみ、雪、砂地などからの脱出が容易になる場合やオフロード走行時にバランスやコントロールの維持が容易になる場合がある

トルクコントロールを正常に機能させるため、タイヤやエンジンおよび後輪側のスプロケットは指定のものをお使いください。

## アクセサリーと改造について

アクセサリーを装着する際は、安全面から Honda 純正アクセサリーを推奨します。Honda 販売店にご相談ください。

Honda 販売店で取り付けられた Honda アクセサリーなどの取り扱いについては、その商品に付属の説明書をお読みください。

車の構造や機能に関係する改造は、操縦性を悪化させたり、排気音を大きくしたり、ひいては車の寿命を縮めることがあります。不正改造は法律に触れることはもちろん、他の迷惑行為となります。

車の改造は保証の適用を除外されます。

### 警告

不適切なアクセサリーや改造は、万一の事故の際、死亡または重大な傷害に至る可能性が高くなります。

アクセサリーを装着する際は、Honda 販売店にご相談のうえ、取扱説明書に従ってください。

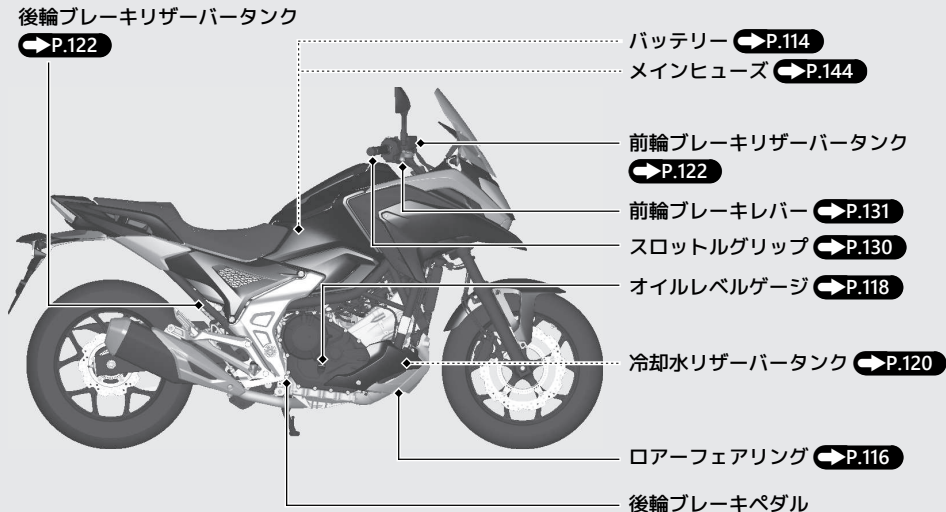
## 積載について

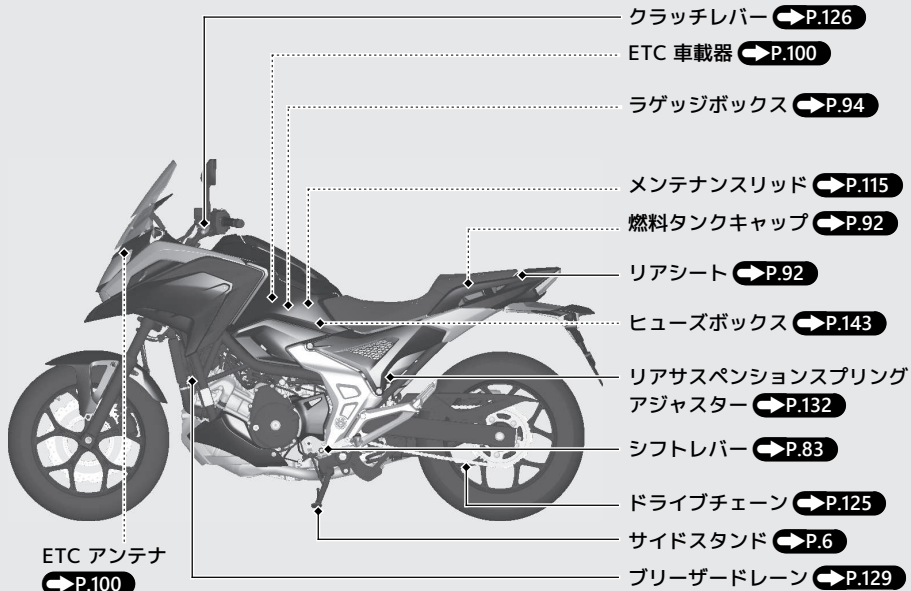
- 荷物を積むと積まないときに比べて操縦安定性が変わるため、安全な速度で走行してください
- 荷物の積みすぎに注意し、確実に固定して安全な速度で走行してください
- ハンドル操作ができなくなる場合があるので、ハンドル付近に物を置かないでください
- ヘッドライト、ウィンカー、ストップ/テールランプ、マフラー周辺への積載はさけてください
  - ▶ 過熱によりレンズが溶けたり、荷物が損傷する場合があります。
- カバー等が破損する場合があるので、指定の場所以外に荷物を積まないでください
  - ▶ 走行やハンドル操作に支障をきたすことがあります。

- レンガや鉄片等、固くて重いものをラゲッジボックスに積んだまま走行しないでください。
  - ▶ 積載重量以内でもラゲッジボックス底面が損傷する場合があります。
- 貴重品やこわれやすいものは積まないでください
- ラゲッジボックスに熱の影響を受けやすい物は積まないでください。
- 荷物の積載は下記重量までです  
ラゲッジボックス：5 kg

# 各部の名称

NC750X



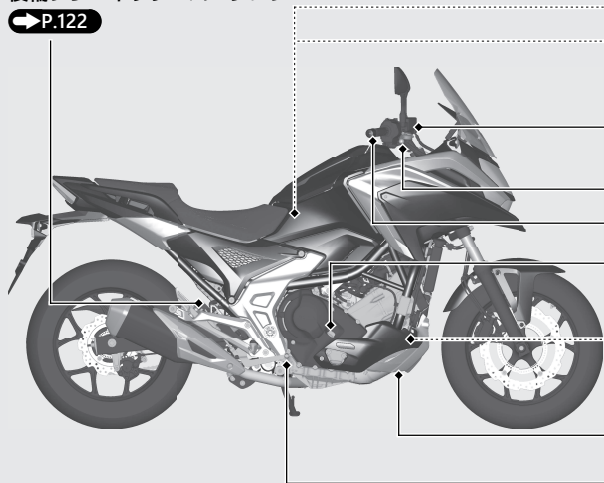


## 各部の名称 前ページの続き

NC750X Dual Clutch Transmission

後輪ブレーキリザーバータンク

➡P.122



バッテリー ➡P.114

メインヒューズ ➡P.144

前輪ブレーキリザーバータンク

➡P.122

前輪ブレーキレバー ➡P.131

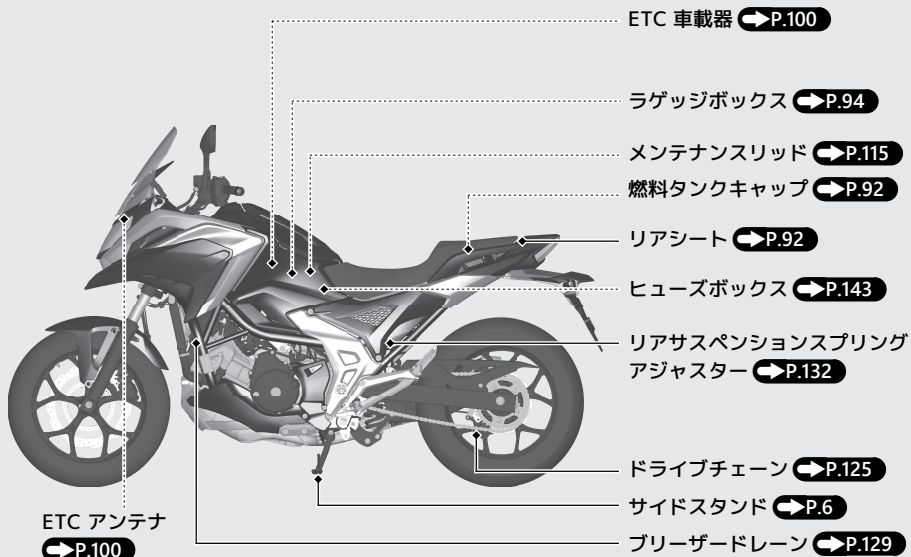
スロットルグリップ ➡P.130

オイルレベルゲージ ➡P.118

冷却水リザーバータンク ➡P.120

ロアーフェアリング ➡P.116

後輪ブレーキペダル



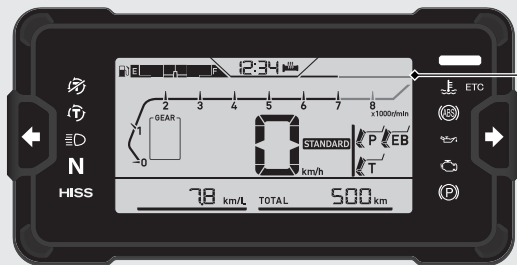
# メーター

SEL ▲ (アップ) ボタン



MODE ボタン

SEL ▼ (ダウン) ボタン



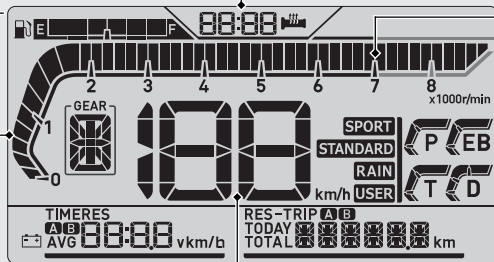
## ディスプレイの初期表示

メインスイッチを | (On) にすると、全ての表示があらわれます。表示されない部分がある場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。

### ▶ NC750X

ライディングモードの DCT モード (D 値) は表示されません。 ➡ P.73

時計 (12 時間または 24 時間表示) → P.40

レッドゾーン  
(エンジン限界回転域)

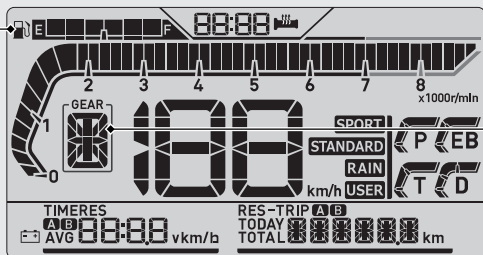
スピードメーター (速度計)

タコメーター (エンジン回転計)

**アドバイス**

エンジン回転数がレッドゾーンに入らないように運転してください。エンジン寿命に悪影響を与えます。

## メーター 前ページの続き



### 燃料計

マークが1つ (E) だけ点滅したときの燃料残量：  
約 3.0 l



リザーブトリップメーター表示とリザーブ燃料消費量表示が同時に表示されます。

燃料計の故障表示 **➡P.141**

### アドバイス

燃料計のマークが1つ (E) だけ点滅したときは、早めに給油してください。  
燃料がなくなるとエンジンが点火しなくなり、触媒装置を損傷することがあります。

## ギアポジション表示

### NC750X

ギアポジションを表示します。


- ▶ ギヤポジションがニュートラルの時は“ ”が表示されます。
- ▶ トランスミッションが適切なシフトになっていない場合“-”が表示されます。

### NC750X Dual Clutch Transmission

ギアポジションを表示します。

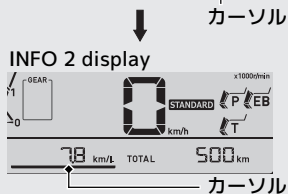
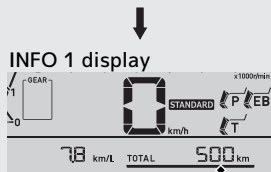
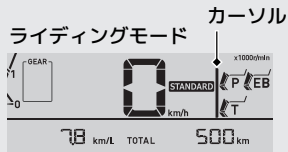
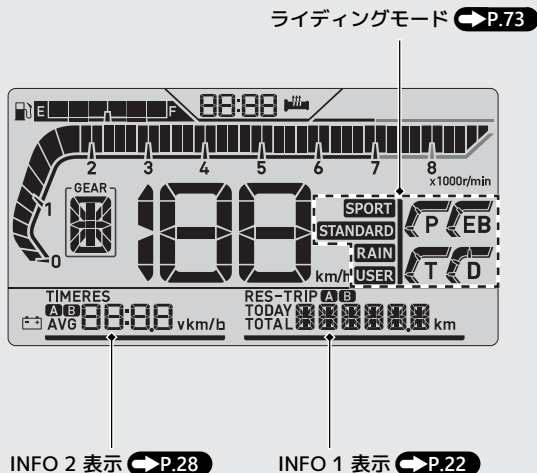
ギアポジション表示は、下記の場合に点滅することがありますが異状ではありません。

- ▶ 前輪が地面から離れた場合
- ▶ メンテナンススタンドを立てるなどして、車輪を空転させた場合  
この場合はメインスイッチを ○ (Off) にし、再度メインスイッチを | (On) にします。

走行中にギアポジション表示の“-”表示が点滅したときは  P.140

## メーター 前ページの続き

**MODE** ボタンを押してカーソルを移動してディスプレイを選択する。



MODE ボタンを押す

## ディスプレイの明るさ調整

ディスプレイの明るさはH(昼モード)もしくはL(夜モード)に設定できます。

**SEL** **▲** (アップ) ボタンを押し続けると、以下の画面が表示され、明るさを設定できます。

▶ ディスプレイの明るさは、H(昼モード)/L(夜モード)それぞれ調整できます。 **➡P.41** **➡P.42**

H(昼モード)

L(夜モード)



## メーター 前ページの続き

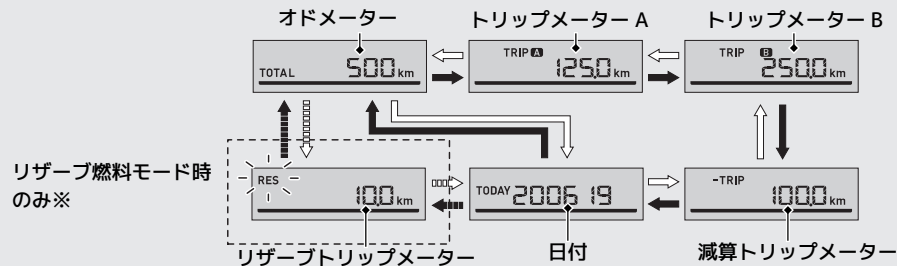
### INFO 1 表示

INFO 1 表示は、以下の項目を選択できます。

- オドメーター [TOTAL]
- トリップメーター [TRIP A / B]
- 減算トリップメーター [-TRIP]
- 日付 [TODAY]
- リザーブトリップメーター [RES]

## INFO 1 表示の設定

- 1 INFO 1 表示を選択する。 ➡ P.20
- 2 **SEL** ▲ (アップ) ボタンまたは **SEL** ▼ (ダウン) ボタンを押し、設定したいメニューを選択する。
- 3 **MODE** ボタンを押し、INFO 1 表示の設定を決定する。  
決定と同時に INFO 2 表示の設定に切り換わる。



➡ **SEL** ▲ (アップ) ボタンを押し

⇨ **SEL** ▼ (ダウン) ボタンを押し

➡ **SEL** ▲ (アップ) ボタンを押し

⇨ **SEL** ▼ (ダウン) ボタンを押し

※ リザーブ燃料モード：燃料計のマークが1つ (E) だけ点滅したとき、リザーブ燃料モードに自動で切り換り、リザーブトリップメーターを選択できます。

## メーター 前ページの続き

### ■ オドメーター[TOTAL]

総走行距離を表示

表示が“-----”になったときは、Honda 販売店で点検を受けてください。

### ■ トリップメーター[TRIP A / B]

トリップメーターを 0 km にリセットしてからの走行距離を表示

表示が“----.-”になったときは、Honda 販売店で点検を受けてください。

トリップメーターをリセットするには **➡P.26**

### ■ 日付 [TODAY]

日付の設定: **➡P.39**

### ■ 減算トリップメーター [-TRIP]

設定した距離から走行した距離を減算し、表示します。

表示範囲：1,6088.3～-9,999.9 km

読み取り値が-9999.9kmを超えると、表示が「-9999.9」km で点滅します。

▶ 減算トリップメーターをリセットするには **➡P.27**

## リザーブトリップメーター[RES]（リザーブ燃料モード時のみ）

燃料計のマークが1つ（E）だけ点滅してからの走行距離を表示します。

走行する環境などにより、多少の誤差が生じることがあります。

リザーブ燃料モード：燃料計のマークが1つ（E）だけ点滅したとき、リザーブトリップメーターに自動で切り換ります。

リザーブ燃料モードになったときは、早めに燃料を補給してください。

- “RES”マークが点滅します。

- ▶ リザーブ燃料消費量が1.6 Lを超えると、“RES”マークが速く点滅します。

表示範囲：0.0～9999.9 km

表示が“----.-”になったときは、Honda 販売店で点検を受けてください。

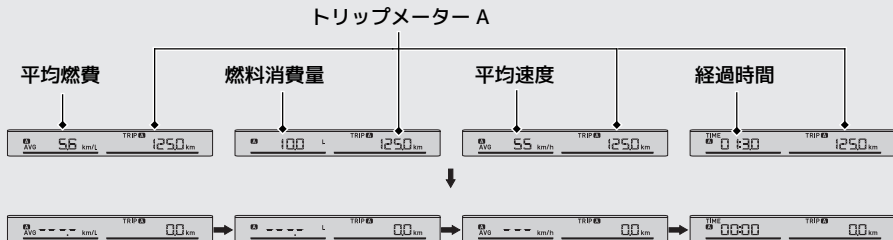
給油後、燃料タンク内のガソリンの量が一定量を超えると通常表示に戻ります。

## メーター 前ページの続き

### トリップメーター、平均燃費、燃料消費量、平均速度、経過時間のリセット

トリップメーター A をリセットすると、トリップメーター A に基づく平均燃費、燃料消費量、平均速度および経過時間も同時にリセットされます。

トリップメーター A、トリップメーター A に基づく平均燃費、燃料消費量、平均速度および経過時間をリセットするには、トリップメーター A またはオドメーター表示にカーソルがあるとき、もしくはトリップメーター A またはオドメーター表示中で平均燃費 / 燃料消費量 / 平均速度 / 経過時間表示にカーソルがあるとき、**MODE** ボタンを押し続ける。

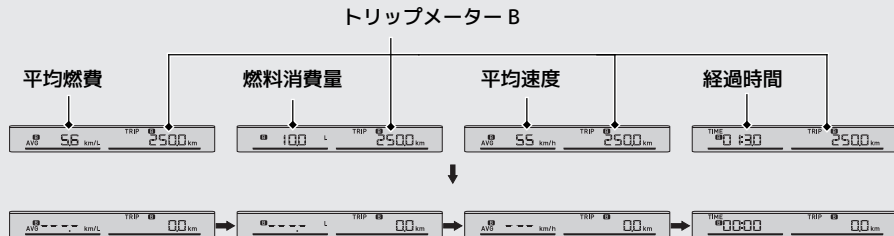


リセット後は選択していた表示に戻ります。

燃料計のマークが 1 つ (E) だけ点滅したあとに燃料計のマーク 2 つまで給油後、0.1 km 走行したときに、トリップメーター A、平均燃費、燃料消費量、平均速度および経過時間を自動でリセットするように設定することができます。➡P.43

トリップメーター B をリセットすると、トリップメーター B に基づく平均燃費、燃料消費量、平均速度および経過時間も同時にリセットされます。

トリップメーター B、トリップメーター B に基づく平均燃費、燃料消費量、平均速度および経過時間をリセットするには、トリップメーター B 表示にカーソルがあるとき、もしくはトリップメーター B 表示中で平均燃費 / 燃料消費量 / 平均速度 / 経過時間表示にカーソルがあるとき、**MODE** ボタンを押し続ける。



リセット後は選択していた表示に戻ります。

### 減算トリップメーターのリセット

減算トリップメーターをリセットするには、減算トリップメーターが表示されているときに**MODE** ボタンを押し続ける。

▶ リセット後は、設定値に戻ります

## メーター 前ページの続き

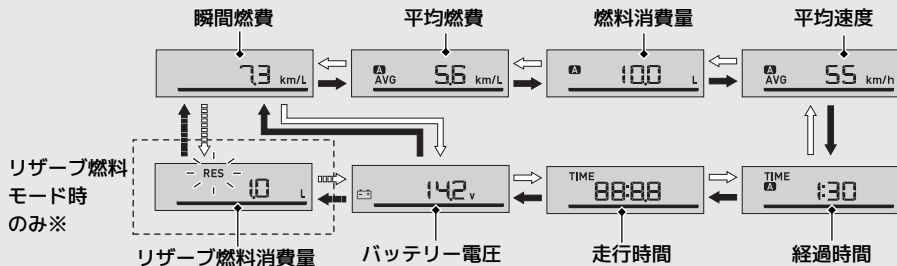
### INFO 2 表示

INFO 2 表示は、以下の項目を選択できます。

- 瞬間燃費
- 平均燃費
- 燃料消費量
- 平均速度
- 経過時間
- 走行時間
- バッテリー電圧
- リザーブ燃料消費量（リザーブ燃料モード時のみ）

## INFO 2 表示の設定

- 1 INFO 2 表示を選択する。 ➡ P.20
- 2 **SEL** ▲ (アップ) ボタンまたは **SEL** ▼ (ダウン) ボタンを押し、設定したいメニューを選択する。
- 3 **MODE** ボタンを押し、INFO 2 表示の設定を決定する。  
決定と同時にライディングモードの設定に切り換わる。



➡ **SEL** ▲ (アップ) ボタンを押す

⇨ **SEL** ▼ (ダウン) ボタンを押す

⋯➡ リザーブ燃料モードのとき、**SEL** ▲ (アップ) ボタンを押す

⋯⇨ リザーブ燃料モードのとき、**SEL** ▼ (ダウン) ボタンを押す

※ リザーブ燃料モード：燃料計のマークが1つ (E) だけ点滅したとき、リザーブ燃料モードに自動で切り換り、リザーブ燃料消費量を選択できます。

## メーター 前ページの続き

### 瞬間燃費

瞬間燃費を km/L の単位で表示

表示範囲： 0.0 ～ 300.0 km/L

- 5 km/h 未満の場合は“---.-”を表示します。
- 300 km/L 以上の場合は、“300.0”を表示します。

上記の場合をのぞいて表示が“---.-”になったときは、Honda 販売店で点検を受けてください。

### 平均燃費

トリップメーターをリセットしてからの平均燃費を km/L の単位で表示

平均燃費は選択しているトリップメーター（A もしくは B）に基づいて算出します。


INFO 1 表示でトリップメーター B を選択しているときは、トリップメーター B の平均燃費が表示されます。

上記以外は、トリップメーター A の平均燃費を表示します。

表示範囲： 0.0 ～ 300.0 km/L

- 300 km/L 以上の場合は、“300.0”を表示します。
- 初期表示は“---.-”を表示します。
- トリップメーター A もしくは B をリセットした場合は“---.-”を表示します。

上記の場合をのぞいて表示が“---.-”になったときは、Honda 販売店で点検を受けてください。

平均燃費をリセットするには  **P.26**

## 燃料消費量

トリップメーターをリセットしてからの燃料消費量を L の単位で表示します。

燃料消費量は選択しているトリップメーター（A もしくは B）に基づいて算出します。


INFO 1 表示でトリップメーター B を選択しているときは、トリップメーター B の燃料消費量が表示されます。

上記以外は、トリップメーター A の燃料消費量を表示します。

表示範囲：0.0～300.0 L

- トリップメーター A もしくは B をリセットした場合は“---.-”を表示します。

上記の場合をのぞいて表示が“---.-”になったときは、Honda 販売店で点検を受けてください。

燃料消費量をリセットするには  **P.26**

## メーター 前ページの続き

### 平均速度

トリップメーターをリセットしてからの平均速度を km/h の単位で表示します。

平均速度は選択しているトリップメーター（A もしくは B）に基づいて算出します。


INFO 1 表示でトリップメーター B を選択しているときは、トリップメーター B の平均速度が表示されます。

上記以外は、トリップメーター A の平均速度を表示します。

表示範囲：0 ～ 199 km

- 初期表示は“---”を表示します。
- エンジン始動後、トリップメーター A または B の走行距離が 0.2 km 未満の場合、“---”を表示します。
- トリップメーター A または B の作動時間がエンジン始動から 16 秒未満の場合、“---”を表示されます。

上記の場合をのぞいて表示が“---”になったときは、Honda 販売店で点検を受けてください。

平均速度をリセットするには  **P.26**

## 経過時間

トリップメーターをリセットしてからのエンジン稼働中の経過時間を表示します。


経過時間は選択しているトリップメーター（A もしくは B）に基づいて算出します。

INFO 1 表示でトリップメーター B を選択しているときは、トリップメーター B の経過時間が表示されます。

上記以外は、トリップメーター A の経過時間を表示します。

表示範囲：00:00 ～ 99:59


- 経過時間は、99：59（時間：分）を超えると 00：00 に戻ります。

経過時間をリセットするには  **P.26**

## 走行時間

エンジン始動後の走行時間を表示します。

表示範囲：00:00 ～ 99:59

- 走行時間は、99：59（時間：分）を超えると 00：00 に戻ります。
- メインスイッチを  (Off) にしたとき、走行時間がリセットされます。

## バッテリー電圧

バッテリーの電圧を表示

## メーター 前ページの続き

### リザーブ燃料消費量（リザーブ燃料モード時のみ） ➡ P.29

燃料計のマークが1つ（E）だけ点滅してからの燃料消費量を表示します。

走行する環境などにより、多少の誤差が生じることがあります。

リザーブ燃料モード：燃料計のマークが1つ（E）だけ点滅したとき、リザーブ燃料消費量に自動で切り換ります。

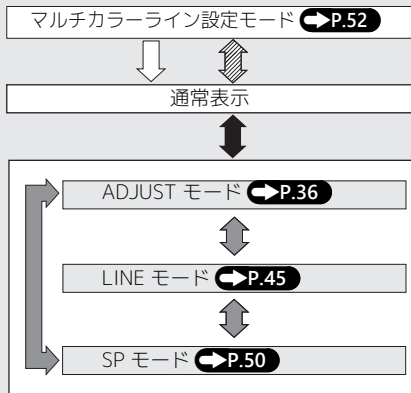
リザーブ燃料モードになったときは、早めに燃料を補給してください。

- “RES”マークが点滅します。
  - ▶ リザーブ燃料消費量が1.6 Lを超えると、“RES”マークが速く点滅します。

給油後、燃料タンク内のガソリンの量が一定量を超えると通常表示に戻ります。

## ディスプレイの設定

以下の設定モードから設定したい項目を選択します。



➡ **SEL** ▲ (アップ) ボタンまたは **SEL** ▼ (ダウン) ボタンと **MODE** ボタンを押し続ける

- ⇒
- **MODE** ボタンを押す
  - **MODE** ボタンを押し続ける
  - **SEL** ▲ (アップ) ボタンを押し続ける

▨ **SEL** ▼ (ダウン) ボタンを押し続ける

➡ **SEL** ▲ (アップ) ボタンまたは **SEL** ▼ (ダウン) ボタンを押す

ADJUST モード、LINE モードまたは SP モードの設定を決定するには、**MODE** ボタンを押します。以下の方法でもディスプレイの設定から通常表示に戻ることができます。

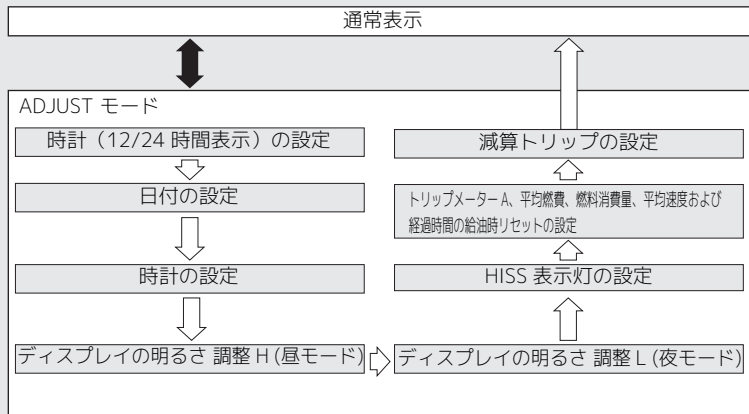
- 約 30 秒間ボタンの操作がない場合
  - ▶ 設定中の項目は破棄され、設定済みの項目のみが反映されます。
- メインスイッチを ○ (Off) にしてから | (On) にする
  - ▶ 設定中の項目および設定済みの項目が反映されます。

## メーター 前ページの続き

### ADJUST モード

ADJUST モードは以下の機能の設定ができます。

- 時計（12/24 時間表示）の設定
- 日付の設定
- 時間の設定
- ディスプレイの明るさ 調整 H (昼モード)
- ディスプレイの明るさ 調整 L (夜モード)
- HISS 表示灯の設定
- トリップメーター A、平均燃費、燃料消費量、平均速度および経過時間の給油時リセットの設定
- 減算トリップの設定



➡ **SEL** **▲** (アップ) ボタンまたは **SEL** **▼** (ダウン) ボタンと **MODE** ボタンを押し続ける

⇨ **MODE** ボタンを押す

## メーター 前ページの続き

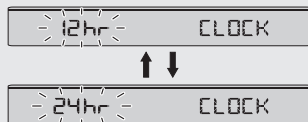
以下の方法でもディスプレイの設定から通常表示に戻ることができます。

- 約 30 秒間ボタンの操作がない場合
  - ▶ 設定中の項目は破棄され、設定済みの項目のみが反映されます。
- メインスイッチを○ (Off) にしてから| (On) にする
  - ▶ 設定中の項目および設定済みの項目が反映されます。

## 1 時計 (12/24 時間表示) の設定

12 時間または 24 時間表示の設定ができます。

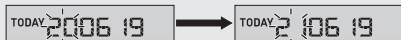
- ① メインスイッチを | (On) にする。
- ② ディスプレイの設定モードから ADJUST モードを選択する。➡P.35
  - ▶ 現在の設定が点滅します
- ③ SEL ▲ (アップ) ボタンまたは SEL ▼ (ダウン) ボタンを押し、“12hr” (12 時間表示) または“24hr” (24 時間表示) を選択する。



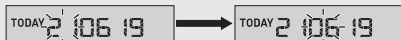
- ④ MODE ボタンを押し、12 時間または 24 時間表示の設定を決定する。決定と同時に日付の設定に切り換わる。

## 2 日付の設定

- ① **SEL** ▲ (アップ) ボタンまたは **SEL** ▼ (ダウン) ボタンを押し、年を修正する。  
▶ ボタンを押し続けると数字が早く進みます。



- ② **MODE** ボタンを押し、年を決定する。決定と同時に月が点滅する。



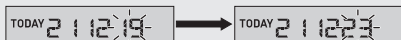
- ③ **SEL** ▲ (アップ) ボタンまたは **SEL** ▼ (ダウン) ボタンを押し、月を修正する。  
▶ ボタンを押し続けると数字が早く進みます。



- ④ **MODE** ボタンを押し、月を決定する。決定と同時に日が点滅する。



- ⑤ **SEL** ▲ (アップ) ボタンまたは **SEL** ▼ (ダウン) ボタンを押し、日を修正する。  
▶ ボタンを押し続けると数字が早く進みます。



- ⑥ **MODE** ボタンを押し、日を決定する。決定と同時に時計の設定にかわる。

## メーター 前ページの続き

### 3 時計の設定

- ① **SEL** **▲** (アップ) ボタンまたは**SEL** **▼** (ダウン) ボタンを押し、時を修正する。  
▶ ボタンを押し続けると数字が早く進みます。



- ② **MODE** ボタンを押し、時を決定する。決定と同時に分が点滅する。



- ③ **SEL** **▲** (アップ) ボタンまたは**SEL** **▼** (ダウン) ボタンを押し、分を修正する。  
▶ ボタンを押し続けると数字が早く進みます。

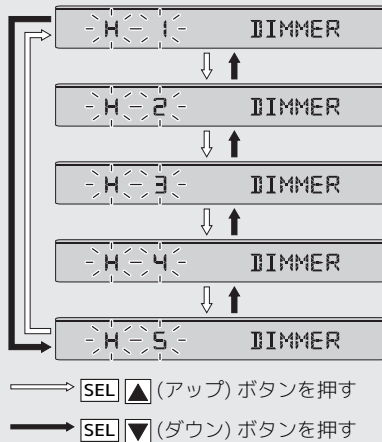


- ④ **MODE** ボタンを押し、分を決定する。決定と同時にディスプレイの明るさ調整 H (昼モード) に切り換わる。

#### 4 ディスプレイの明るさ調整 H (昼モード):

明るさは5段階に調整できます。

- 1 **SEL** **▲** (アップ) ボタンまたは **SEL** **▼** (ダウン) ボタンを押し、明るさを調整する。
- 2 **MODE** ボタンを押し、明るさを決定する。決定と同時にディスプレイの明るさ調整 L (夜モード) にかわる。

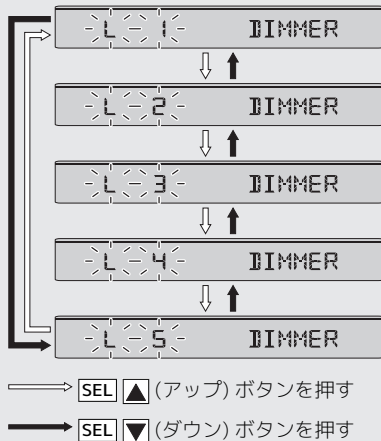


## メーター 前ページの続き

### 5 ディスプレイの明るさ調整 L (夜モード) :

明るさは 5 段階に調整できます。

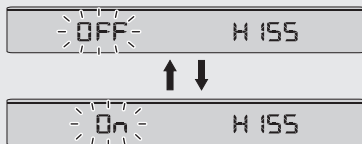
- ① **SEL** **▲** (アップ) ボタンまたは **SEL** **▼** (ダウン) ボタンを押し、明るさを調整する。
- ② **MODE** ボタンを押し、明るさを決定する。決定と同時に HISS 表示灯の設定にかわる。



## 6 HISS 表示灯の設定：

HISS 表示灯点滅の ON/OFF 設定ができます。

- 1 **SEL** **▲** (アップ) ボタンまたは **SEL** **▼** (ダウン) ボタンを押し、"On" (点滅あり) か "OFF" (点滅なし) を選択する。



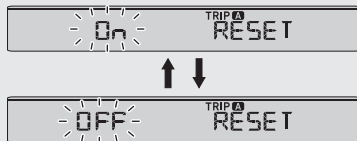
- 2 **MODE** ボタンを押し、HISS 表示灯の設定を決定する。決定と同時にトリップメーター A、平均燃費、燃料消費量、平均速度および経過時間の給油時リセットの設定にかわる。

## 7 トリップメーター A、平均燃費、燃料消費量、平均速度および経過時間の給油時リセットの設定

燃料計のマークが 1 つ (E) だけ点滅したあとの給油時に、トリップメーター A、平均燃費、燃料消費量、平均速度および経過時間を自動的にリセットさせることができます。

一定量以上のガソリンを給油後、0.1 km 走行したとき自動でリセットされます。

- 1 **SEL** **▲** (アップ) ボタンまたは **SEL** **▼** (ダウン) ボタンを押し、"On" (リセットする) か "Off" (リセットしない) を選択する。



- 2 **MODE** ボタンを押し、設定を決定する。決定と同時に減算トリップメーターの設定にかわる。

## メーター 前ページの続き

### 8 減算トリップメーターの設定：

減算トリップメーターの設定を変更できます。

- ① 現在の設定距離が表示され、“4 桁目” の表示が点滅する。



- ② **SEL** **▲** (アップ) ボタンまたは **SEL** **▼** (ダウン) ボタンを押し、値を修正する。
  - ▶ ボタンを押し続けると数字が早く進みます。
  - ▶ 設定範囲： 9,999.0 ~ 0.0 km
- ③ **MODE** ボタンを押し、4 桁目を決定する。決定と同時に 3 桁目が点滅する。

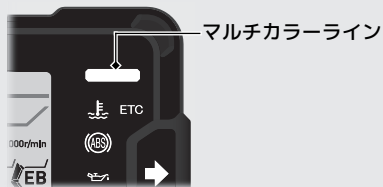


- ④ 1、2 桁目の設定は ② と ③ の手順を繰り返す。
- ⑤ **MODE** ボタンを押し、減算トリップメーターの値を決定する。決定と同時に通常表示に戻る。

## LINE モード

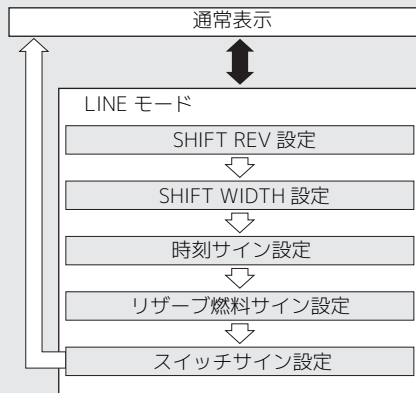
LINE モードは以下の機能の設定ができます。  
設定によりマルチカラーラインの表示方法を変更できます。

- SHIFT REV 設定
- SHIFT WIDTH 設定
- 時刻サイン設定
- リザーブ燃料サイン設定
- スイッチサイン設定



➡ **SEL** ▲ (アップ) ボタンまたは **SEL** ▼ (ダウン) ボタンと **MODE** ボタンを押し続ける

➡ **MODE** ボタンを押す



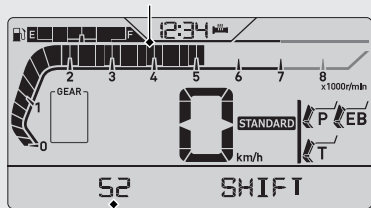
## メーター 前ページの続き

### 1 SHIFT REV 設定

マルチカラーラインがシフトアップポイントを表示するときのエンジン回転数を設定できます。

- ① メインスイッチを I (On) にする。
- ② ディスプレイの設定モードから LINE モードを選択する。➡P.35
  - ▶ 設定中はタコメーターセグメントおよびタコメーター数字表示が点滅し、“SHIFT REV”がスクロール表示されます。

タコメーター





タコメーター数字表示

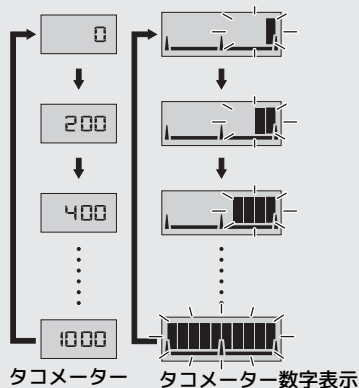
- ③ **SEL** ▲ (アップ) ボタンまたは **SEL** ▼ (ダウン) ボタンを押し、シフトアップポイントの回転数を設定する。
  - ▶ ボタンを押すごとに設定値は 200 r/min (rpm)ずつ増加、または減少します。設定範囲を超えると設定の上限値、または下限値に戻ります。
  - ▶ シフトアップポイントの回転数は、4,000 r/min (rpm)から 7,000 r/min (rpm)の間で設定できます。
  - ▶ ボタンを押し続けると数字およびタコメーターセグメントが早く進みます。
- ④ **MODE** ボタンを押し、設定を決定する。決定と同時に SHIFT WIDTH 設定に切り換わる。

## 2 SHIFT WIDTH 設定

マルチカラーラインの表示開始からシフトアップポイントまでの回転数の間隔を設定できます。

- ▶ タコメーターは設定されたシフトアップポイントをもとに、マルチカラーラインが表示を開始する回転数の間隔をセグメントで表示します。
- ▶ タコメーター数字表示は、設定中の回転数の間隔を表示します。
- ▶ 設定中は“SHIFT WIDTH”がスクロール表示されます。

- 1 **SEL**  (アップ) ボタンまたは **SEL**  (ダウン) ボタンを押し、回転数の間隔を設定する。
  - ▶ ボタンを押すごとに設定値は 200 r/min (rpm)ずつ増加、または減少します。設定範囲を超えると設定の上限値、または下限値に戻ります。
  - ▶ 回転数の間隔は、0 r/min (rpm)から 1,000 r/min (rpm)の間で設定できます。
  - ▶ 初期設定値：600 r/min (rpm)



## メーター 前ページの続き

例 SHIFT REV 設定の回転数：

6,000 r/min (rpm)

SHIFT WIDTH 設定の回転数：

600 r/min (rpm)

に設定すると以下のようにマルチカラーラインが表示されます。

マルチカラーライン表示設定がシフトアップ連動（ホワイト）モードのとき：➡P.55

マルチカラーライン （表示色ホワイト）	r/min (rpm)
点滅（2回/秒）	4,800
点滅（5回/秒）	5,400
点滅（10回/秒）	6,000

マルチカラーライン設定がシフトアップ連動（カラー）モードのとき：➡P.56

マルチカラーライン 表示色	r/min (rpm)
イエロー	4,800
アンバー	5,400
ピンク	6,000

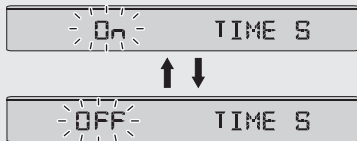
回転数の間隔を 0 r/min (rpm) に設定したときは、エンジン回転数が設定したシフトアップポイントになると、表示設定に応じてマルチカラーラインがホワイトで点滅（10回/秒）またはピンクで表示されます。

- 2 **MODE** ボタンを押し、設定を決定する。決定と同時に時刻サイン設定に切り換わる。

### 3 時刻サイン設定

時計表示の時刻が毎正時（00 分のとき）になったとき、マルチカラーラインが表示されるように設定できます。

- ▶ On に設定すると、時計表示が正時にかわったときにマルチカラーライン（ホワイト）が3回点滅します。
- ① **SEL ▲**（アップ）ボタンまたは**SEL ▼**（ダウン）ボタンを押し、“On”か“Off”を選択する。
  - ▶ 設定中は“TIME SIGN”がスクロール表示されます。

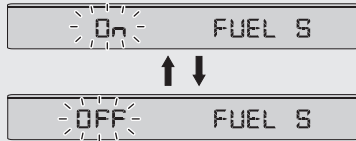


- ② **MODE** ボタンを押し、設定を決定する。決定と同時にリザーブ燃料サイン設定に切り換わる。

### 4 リザーブ燃料サイン設定

燃料計のマークが1つ（E）だけ点滅を開始したとき、マルチカラーラインが表示されるように設定できます。

- ▶ On に設定すると、燃料計のマークが1つ（E）だけ点滅を開始してから約15秒間マルチカラーライン（アンバー）が点灯します。
- ① **SEL ▲**（アップ）ボタンまたは**SEL ▼**（ダウン）ボタンを押し、“On”か“Off”を選択する。
  - ▶ 設定中は“FUEL SIGN”がスクロール表示されます。



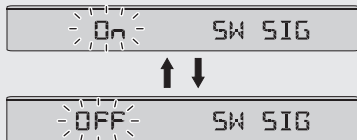
- ② **MODE** ボタンを押し、設定を決定する。決定と同時にスイッチサイン設定に切り換わる。

## メーター 前ページの続き

### 5 スイッチサイン設定

ボタンまたはスイッチを操作したときにマルチカラーラインが表示されるように設定できます。

- ▶ 設定を On にすると、**SEL** ▲ (アップ) ボタン、**SEL** ▼ (ダウン) ボタン、**MODE** ボタン、およびグリップヒータースイッチを押したときにマルチカラーライン (ホワイト) が一瞬点灯します。
- ① **SEL** ▲ (アップ) ボタンまたは **SEL** ▼ (ダウン) ボタンを押し、“On”か“Off”を選択する。
  - ▶ 設定中は“SW SIGN”がスクロール表示されます。



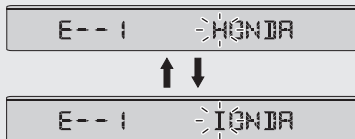
- ② **MODE** ボタンを押し、設定を決定する。決定と同時に通常表示に戻る。

### SP 設定モード

#### 1 エンディングメッセージの入力：

エンディングメッセージには、6 文字入力できます。

- ① メインスイッチを I (On) にする。
- ② ディスプレイの設定モードから SP モードを選択する。 ➡ P.35
- ③ **SEL** ▲ (アップ) ボタンまたは **SEL** ▼ (ダウン) ボタンを押し、文字を入力する。
  - ▶ アルファベット、数字、シンボルが入力できます。 ➡ P.51
  - ▶ ボタンを押し続けると文字が早く進みます。



- ④ **MODE** ボタンを押し、文字を決定する。決定と同時に次の文字が点滅する。

- 5 最後の文字を設定するまで、3 と 4 の手順を繰り返す。
- 6 エンディングメッセージの設定後、通常表示に戻る。

エンディング表示で選択できる文字：

**SEL** **▲** (アップ) ボタンまたは **SEL** **▼** (ダウン) ボタンを押すと、文字は以下の順番で表示されます。



## メーター 前ページの続き

### 2 マルチカラーライン表示設定：

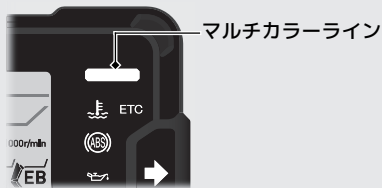
選択したモードと運転状況に応じて、マルチカラーラインの色が変わります。

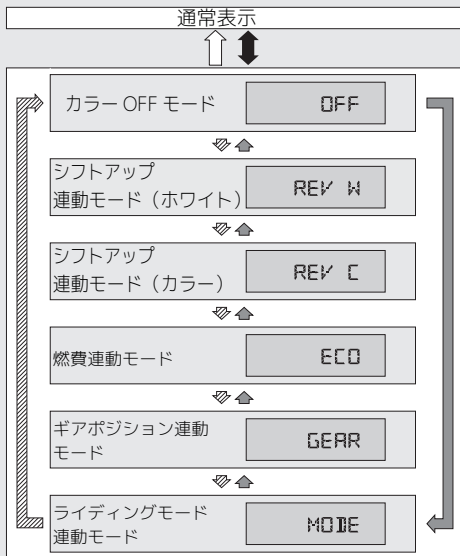
- ▶ ライディングモードの USER モード 設定中を除きます。 ➡ P.76

選択したモードと運転状況に応じて、マルチカラーラインの色が変わります。

マルチカラーライン表示は以下の設定の中からいずれかを選択できます。

- カラー OFF モード
- シフトアップ連動モード（ホワイト）
- シフトアップ連動モード（カラー）
- 燃費連動モード
- ギアポジション連動モード
- ライディングモード連動モード





➡ **SEL** ▼ (ダウン) ボタンを押し続ける

- ➡
- **MODE** ボタンを押す
  - **MODE** ボタンを押し続ける
  - **SEL** ▲ (アップ) ボタンを押し続ける

➡ **SEL** ▲ (アップ) ボタンを押す

➡ **SEL** ▼ (ダウン) ボタンを押す

- 約 30 秒間ボタンの操作がない場合
  - ▶ 設定中の項目は破棄され、設定済みの項目のみが反映されます。
- メインスイッチを **○** (Off) にしてから **■** (On) にする
  - ▶ 設定中の項目および設定済みの項目が反映されます。

## メーター 前ページの続き

マルチカラーライン表示の優先順位：

- ▶ A を表示しているとき、B は表示しません。



## カラー OFF モード

マルチカラーラインの表示が OFF になります。

- ▶ カラー OFF モードでも、LINE モード設定で時刻サイン設定、リザーブ燃料サイン設定、スイッチサイン設定が ON の場合はそれぞれのマルチカラーラインが表示されます。

## シフトアップ連動（ホワイト）モード

SHIFT REV 設定で設定したシフトアップポイント付近にエンジン回転数が達すると、マルチカラーラインがホワイトで点滅表示され、シフトアップの目安をお知らせします。

例：SHIFT REV 設定を 6,000 r/min (rpm) に設定し、SHIFT WIDTH 設定を 600 r/min (rpm) に設定した場合：

マルチカラーライン（表示色ホワイト）	r/min (rpm)
点滅 (2 回/秒)	4,800
点滅 (5 回/秒)	5,400
点滅 (10 回/秒)	6,000

SHIFT REV 設定：  P.46 / SHIFT WIDTH 設定：  P.47

## メーター 前ページの続き

### シフトアップ連動（カラー）モード

SHIFT REV 設定で設定したシフトアップポイント付近にエンジン回転数が達すると、マルチカラーラインが色で表示され、シフトアップの目安をお知らせします。

例： SHIFT REV 設定を 6,000 r/min (rpm) に設定し、SHIFT WIDTH 設定を 600 r/min (rpm) に設定した場合：

マルチカラーライン 表示色	r/min (rpm)
イエロー	4,800
アンバー	5,400
ピンク	6,000

SHIFT REV 設定： ➡P.46 / SHIFT WIDTH 設定： ➡P.47

## 燃費連動モード

瞬間燃費に応じて、マルチカラーラインの色が変化します。

燃費がよくなると、マルチカラーラインの色がアクアにかかります。さらに燃費がよくなると、グリーンにかかります。

- ▶ 燃費連動モードに設定すると、シフトアップ連動（カラー）モードも有効になります。
- ▶ ライディングモードで SPORT モードを選択しているときは、燃費連動モードは機能しません。

## メーター 前ページの続き

### ギアポジション連動モード

ギアポジションに応じて、以下のようにマルチカラーラインの色が変化します。

ギアポジション	1 速	2 速	3 速	4 速	5 速	6 速
マルチカラーライン 表示色	イエロー	ピンク	バイオレット	ブルー	アクア	グリーン

▶ ギアポジション連動モードに設定すると、シフトアップ連動（ホホワイト）モードも有効になります。

### ライディングモード連動モード

ライディングモードに応じて、以下のようにマルチカラーラインの色が変化します。

ライディングモード	SPORT	STANDARD	RAIN	USER
マルチカラーライン 表示色	ピンク	バイオレット	アクア	ブルー

▶ ライディングモード連動モードに設定すると、シフトアップ連動（ホホワイト）モードも有効になります。



# 警告灯 / 表示灯

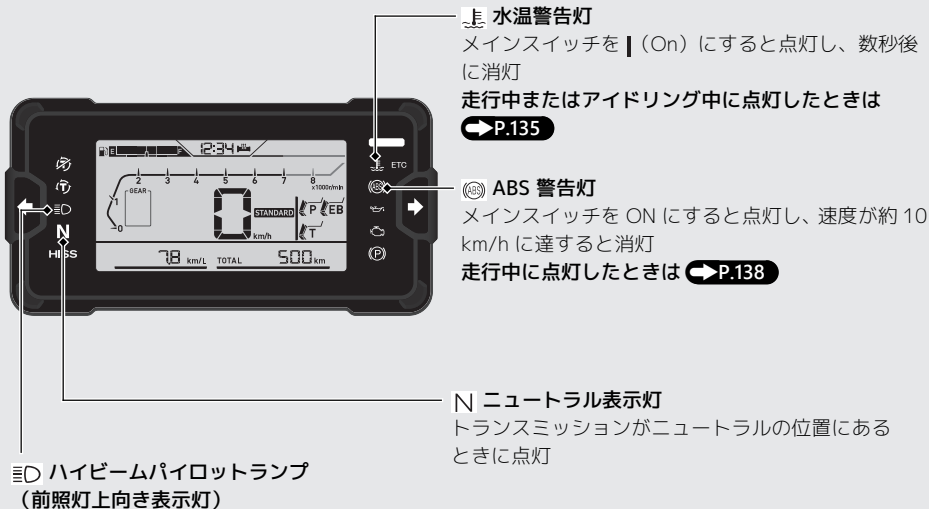
警告灯 / 表示灯が点灯すべきときに点灯しない場合は、Honda 販売店で点検を受けてください



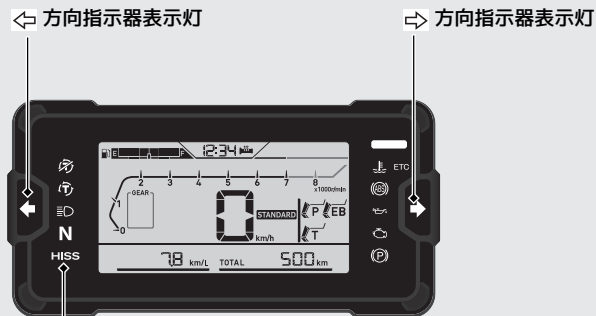
## トルクコントロール警告灯

- メインスイッチを | (On) にすると点灯し、速度が約 5 km/h に達すると消灯  
同時に、トルクコントロールが作動可能な状態になる
- トルクコントロール作動時に点滅

走行中に点灯したときは **➡P.139**

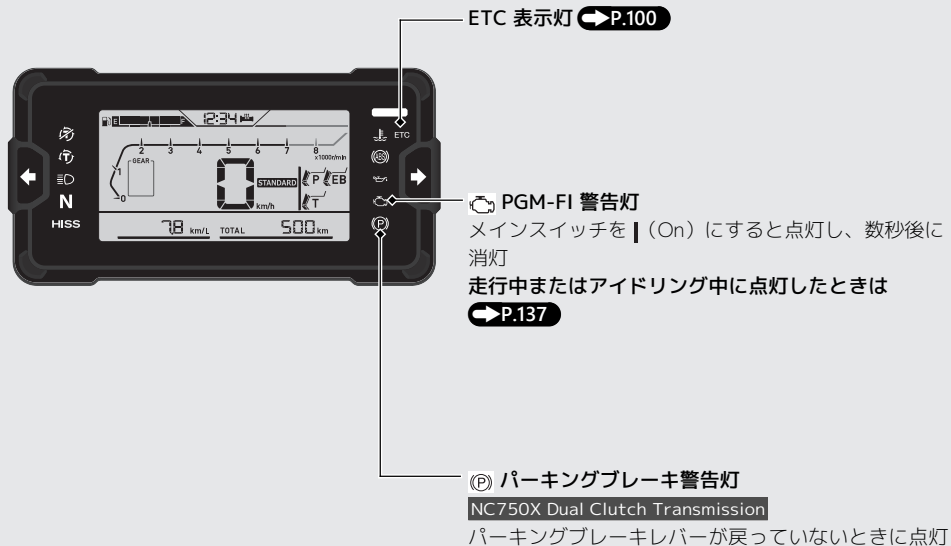


## 警告灯 / 表示灯 前ページの続き



### HISS 表示灯 **➡ P.149**

- メインスイッチを **I** (On) にすると一時的に点灯し、数秒後に消灯
- メインスイッチを **O** (Off) にすると 2 秒間隔で 24 時間点滅



# スイッチ

NC750X

## △ ハザード（非常駐車灯）スイッチ

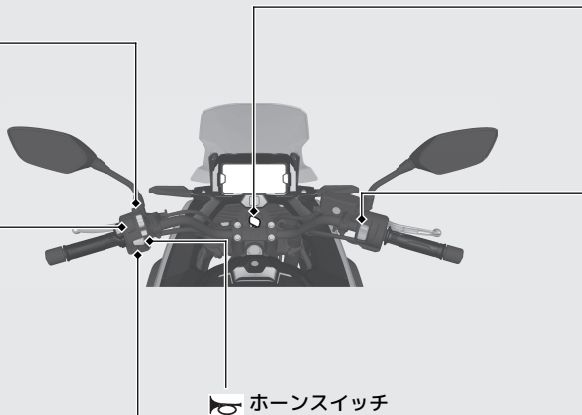
- メインスイッチが | (On) の時に使用できる

## ヘッドライト（前照灯）上下切り換え スイッチ/パッシングライトスイッチ （追い越し合図）

- ≡D (HI) : ヘッドライトが上向き
- ≡D (LO) : ヘッドライトが下向き
- ≡D **PASS** : ヘッドライトが下向き  
のときのみ作動

## ⇐⇒ ウィンカー（方向指示器）スイッチ

- ▶ 解除はスイッチを押して行います。




🔊 ホーンスイッチ

### メインスイッチ


電気回路の ON / OFF、ハンドルロックに使用

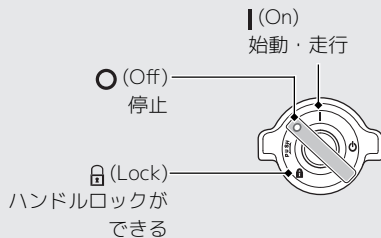
➡ P.71

- ▶ ○ (Off) または  (Lock) の位置で、キーを抜くことができます。

### エンジンストップスイッチ/ スタータースイッチ

通常は、○ (RUN) 位置にしておく

- ▶ 非常時に  (Stop) 位置にすると、エンジンを停止できます。



## スイッチ 前ページの続き

NC750X Dual Clutch Transmission

### △ ハザード（非常駐車灯）スイッチ

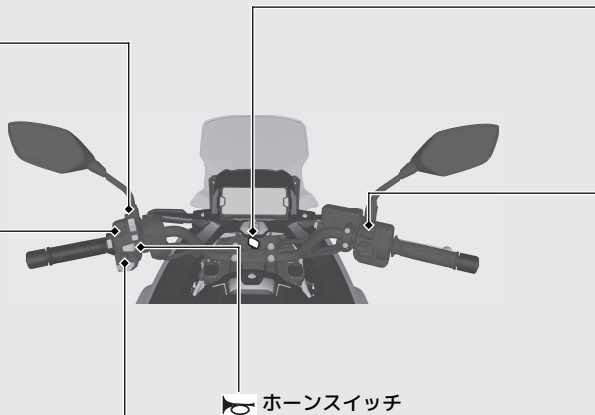
- メインスイッチが | (On) の時に使用できる

### ヘッドライト（前照灯）上下切り換え スイッチ/パッシングライトスイッチ （追い越し合図）

- ≡D (HI) : ヘッドライトが上向き
- ≡D (LO) : ヘッドライトが下向き
- ≡D **PASS** : ヘッドライトが下向き  
のときのみ作動

### ⇐⇒ ウィンカー（方向指示器）スイッチ


- ▶ 解除はスイッチを押して行います。



### メインスイッチ


電気回路の ON / OFF、ハンドルロックに使用

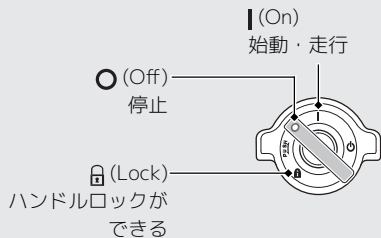
➡ P.71

- ▶ ○ (Off) または  (Lock) の位置で、キーを抜くことができます。

### エンジンストップスイッチ/ スタータースイッチ

通常は、○ (RUN) 位置にしておく

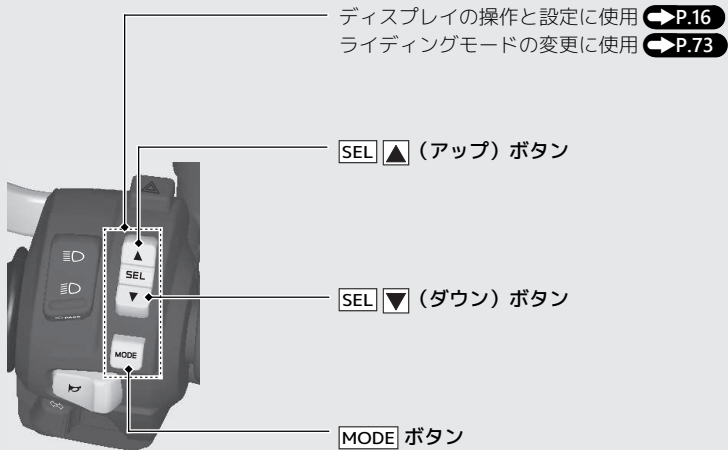
- ▶ 非常時に  (Stop) 位置にすると、エンジンを停止できます。



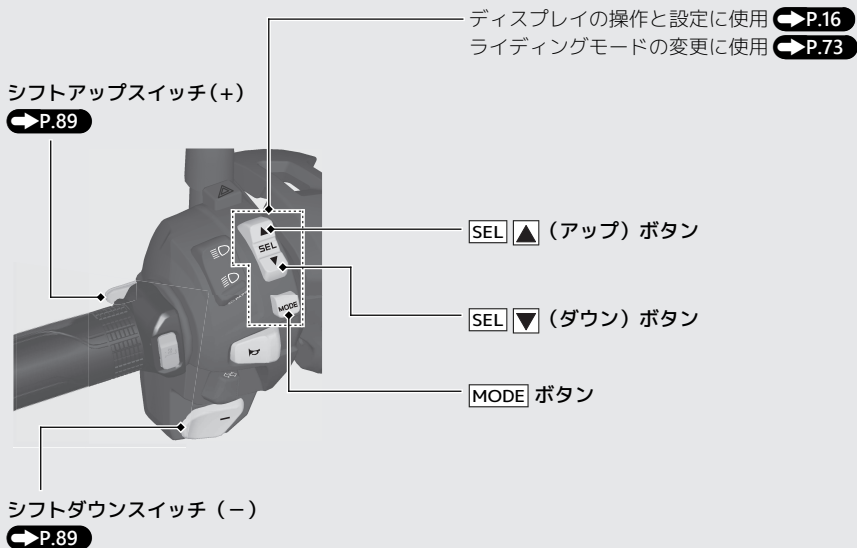
## スイッチ 前ページの続き

### 左ハンドルバースイッチ

NC750X



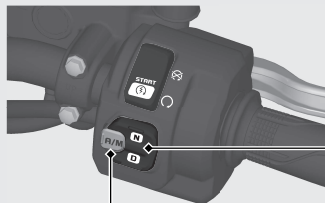
## NC750X Dual Clutch Transmission



## スイッチ 前ページの続き

### 右ハンドルバースイッチ

NC750X Dual Clutch Transmission



#### N-D スイッチ

ニュートラルと AT (オートマチック) モードの切り換え ➡ P.88

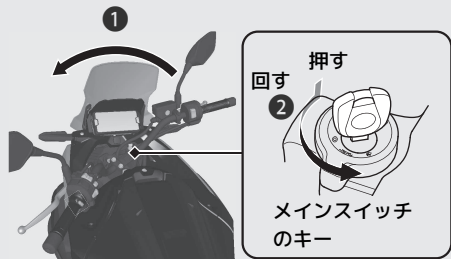
#### A/M スイッチ

AT (オートマチック) モードと MT (マニュアル) モードの切り換え ➡ P.88


## ハンドルロック

盗難予防のため、駐車するときは必ずハンドルロックをかけましょう。

U字ロックなどの使用も推奨します。



## ■ かけかた

- ① ハンドルを左にいっぱいにする。
- ② キーを押し込みながら、 (Lock) の位置まで回す。
  - ▶ ロックがかかりにくい場合は、ハンドルを左右に軽く動かしてください。
- ③ キーを抜く

## ■ 外しかた

キーを押し込みながら、 (Off) の位置まで回す。

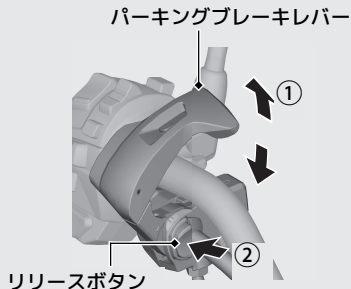
# パーキングブレーキ

NC750X Dual Clutch Transmission

## パーキングブレーキレバー / リリースボタン

駐車時と暖機中はパーキングブレーキがかかっていることを確認する

- ▶ 走行前にパーキングブレーキが完全に解除されていることを確認してください。



### かけかた

パーキングブレーキレバー (①) を手前に引くと、後輪がロックする

- ▶ パーキングブレーキレバーが引かれ、リリースボタン (②) が飛び出ていることを確認してください。
- ▶ パーキングブレーキの調整を適切にしないと、ロックされないことがあります。➡P.124

### 解除のしかた

パーキングブレーキレバー (①) を軽く手前に引きながらリリースボタン (②) を押しパーキングブレーキレバーを戻すと、後輪のロックが外れる

- ▶ 走行前にパーキングブレーキが完全に解除され、パーキングブレーキ警告灯が消灯していることを確認してください。

# ライディングモード

ライディングモードの切り換えができます。  
ライディングモードは以下の内容で構成されています。

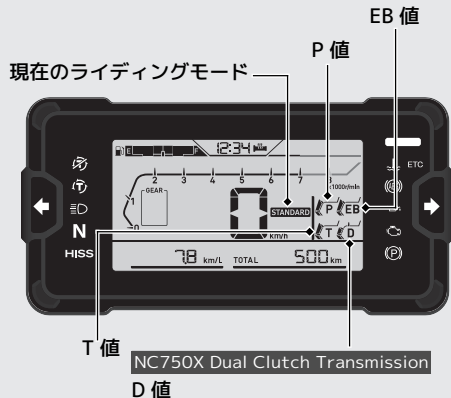
P：エンジン出力レベル

T：トルクコントロールレベル

EB：エンジンブレーキレベル

NC750X Dual Clutch Transmission

D：DCT モード



## ライディングモード 前ページの続き

ライディングモードは SPORT、STANDARD、RAIN、USER の 4 つのモードが選択できます。

### SPORT、STANDARD および RAIN

- ▶ SPORT：エンジンレスポンスが良く、スポーツライディングに適したモードです。
- ▶ STANDARD：オールラウンドにさまざまなシチュエーションで楽しめる標準的なモードです。
- ▶ RAIN：雨天時や滑りやすい路面の走行時に適したモードです。

それぞれの値（P、T、EB、D）の変更はできません。

### USER

それぞれの値（P、T、EB、D）の変更ができます。

#### 初期設定

ライディングモード	P 値	T 値	EB 値	D 値
				NC750X Dual Clutch Transmission
SPORT	3	1	3	4
STANDARD	2	2	2	2
RAIN	1	3	1	1
USER	2*1	2*1, 2	2*1	2*1

Notes:

\*1：レベルの変更ができます。

\*2：トルクコントロールがレベル0の状態ではメインスイッチを  (Off) にすると、次にメインスイッチを  (On) にしたときは自動でレベル2になります。

### P 値（エンジン出力レベル）

P 値は 3 段階の設定があります。

設定範囲：1 ～ 3

- ▶ レベル 1 は、最も低出力になります。
- ▶ レベル 3 は、最も高出力になります。

### T 値（トルクコントロールレベル）

T 値は 3 段階の設定があり、0 にすることもできます。

設定範囲：0 ～ 3

- ▶ レベル 1 は、トルクコントロールが最小になります。
- ▶ レベル 3 は、トルクコントロールが最大になります。
- ▶ レベル 0 はトルクコントロールが機能しません。
- ▶ トルクコントロールが 0 の状態でメインスイッチを **○** (Off) にすると、次にメインスイッチを **■** (On) にしたときは自動で 2 になります。

### EB 値（エンジンブレーキレベル）

EB 値は 3 段階の設定があります。

設定範囲：1 ～ 3

- ▶ レベル 1 は、エンジンブレーキの効果が弱くなります。
- ▶ レベル 3 は、エンジンブレーキの効果が強くなります。

## NC750X Dual Clutch Transmission

### D 値（DCT モード）

D 値は 4 段階に調整できます。

設定範囲：1 ～ 4

- ▶ レベルを上げることで、より高いエンジン回転数を使用できます。
- ▶ レベル 1 は、エンジン回転数が最小になります。
- ▶ レベル 4 は、エンジン回転数が最大になります。

## ライディングモード 前ページの続き

### ライディングモードの切り換えかた

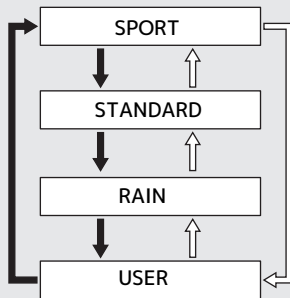
- ① 車両を停止する。
- ② **MODE** ボタンを押してカーソルを移動し、ライディングモードを選択する。 ➡ P.20
- ③ スロットルグリップを完全に閉じた状態で、**SEL ▲** (アップ) または **SEL ▼** (ダウン) ボタンを押してライディングモードを選択する。

**SEL ▲** (アップ) ボタン



**SEL ▼** (ダウン) ボタン

**MODE** ボタン



➡ **SEL ▲** (アップ) ボタンを押す

➡ **SEL ▼** (ダウン) ボタンを押す






## ライディングモードの設定






### NC750X

ライディングモードの“USER”では、P 値、T 値および EB 値の変更ができます。

### NC750X Dual Clutch Transmission

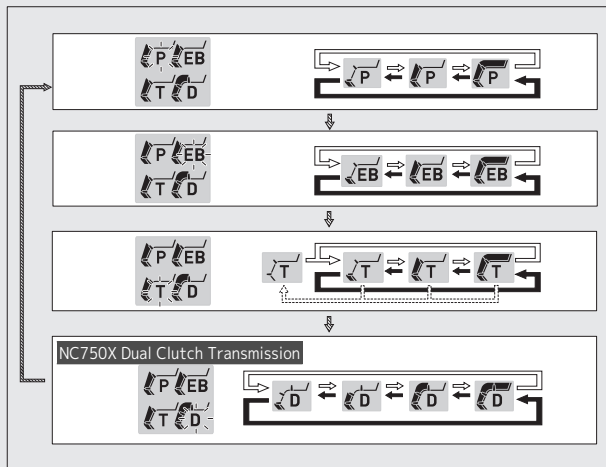
ライディングモードの“USER”では、P 値、T 値、EB 値および D 値の変更ができます。

- 1 車両を停止する。
- 2 ライディングモードで“USER”を選択する。  
 **P.76**
- 3 P 値が点滅するまで、**MODE** ボタンを押し続ける。
- 4 **SEL**  (アップ) ボタンまたは **SEL**  (ダウン) ボタンを押し、P 値を選択する。
- 5 **MODE** ボタンを押し、P 値を決定する。決定と同時に EB 値の設定に切り換わる。
- 6 **SEL**  (アップ) ボタンまたは **SEL**  (ダウン) ボタンを押し、EB 値を選択する。
- 7 **MODE** ボタンを押し、EB 値を決定する。決定と同時に T 値の設定に切り換わる。

- 8 **SEL**  (アップ) ボタンまたは **SEL**  (ダウン) ボタンを押し、T 値を選択する。  
 ▶ **SEL**  (ダウン) ボタンを押し続けると、トルクコントロールレベルは 0 になります。
- 9 **NC750X**  
**MODE** ボタンを押し、T 値を決定する。  
**NC750X Dual Clutch Transmission**  
**MODE** ボタンを押し、T 値を決定する。決定と同時に D 値の設定に切り換わる。  
**SEL**  (アップ) ボタンまたは **SEL**  (ダウン) ボタンを押し、D 値を選択する。
- 10 通常表示に戻るまで、**MODE** ボタンを押し続ける。

途中で設定を終了するには、**MODE** ボタンを押し続けてください。

# ライディングモード 前ページの続き



 **MODE** ボタンを押し続ける

 **MODE** ボタンを押す

 **SEL** ▲ (アップ) ボタンを押す

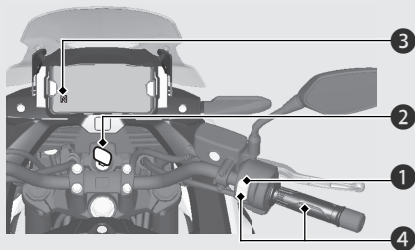
 **SEL** ▼ (ダウン) ボタンを押す

 **SEL** ▼ (ダウン) ボタンを押し続ける

# エンジン始動

## NC750X

始動するには、エンジン・冷却水の温度にかかわらず、次の手順で行ってください。

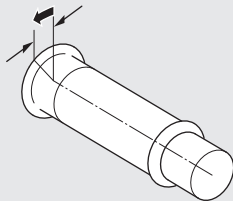


### アドバイス

- スタータースイッチを押して5秒以内でエンジンがかからないときは、一度メインスイッチを○(Off)にしてください。その後バッテリー電圧回復のため10秒ほど経ってからやり直してください。
- 無用な空ぶかしや長時間のアイドリングはエンジンやマフラー、触媒装置に悪影響を与えます。
- 万一転倒した場合は、一旦メインスイッチを○(Off)にしてください。再度走行を行う際は、各部の損傷状態や、走行に支障が無いかを十分に確認してください。

- ① エンジンストップスイッチが○(Run)の位置にあるか確認する。
- ② メインスイッチを| (On) に回す。
- ③ ギアをニュートラルにする。(表示灯点灯)
  - ▶ ギアが入った状態では始動しません。ただし、サイドスタンドが格納されている状態でクラッチレバーを握れば始動します。
- ④ スロットルグリップを閉じたまま、スタータースイッチを押す。
  - ▶ もし、エンジンがかからない場合は、スロットルグリップをわずかに(遊びを除いて3mm程度)回しながらスタータースイッチを使用してください。

### 遊びを除いて3mm程度



## エンジン始動 前ページの続き

### ■ エンジンがかからないときは

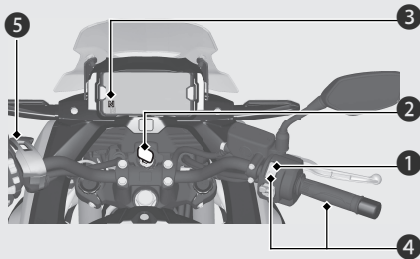
次の方法を試してください。

- ① スロットルグリップを全開にし、スタータースイッチを 5 秒間押す
- ② 通常手順 (① ~ ④) でエンジンをかける。
- ③ エンジンがかかり、エンジン回転が安定しない場合はスロットルグリップを少し開ける。
- ④ エンジンがかからないときは 10 秒間待ってから、① ② の手順を繰り返す。

■ それでも始動できないときは ➡ P.134

## NC750X Dual Clutch Transmission

始動するには、エンジン・冷却水の温度にかかわらず、次の手順で行ってください。

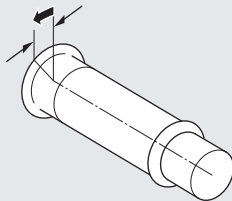


## アドバイス

- スタータースイッチを押して5秒以内でエンジンがかからないときは、一度メインスイッチを○(Off)にしてください。その後バッテリー電圧回復のため10秒ほど経ってからやり直してください。
- 無用な空ぶかしや長時間のアイドリングはエンジンやマフラー、触媒装置に悪影響を与えます。
- 万一転倒した場合は、一旦メインスイッチを○(Off)にしてください。再度走行を行う際は、各部の損傷状態や、走行に支障が無いかを十分に確認してください。

- 1 エンジンストップスイッチが○(Run)の位置にあるか確認する。
- 2 メインスイッチを| (On) に回す。
- 3 ギアがニュートラルになっているか確認する。(表示灯点灯)
- 4 スロットルグリップを閉じたまま、スタータースイッチを押す。
  - ▶ もし、エンジンがかからない場合は、スロットルグリップをわずかに(遊びを除いて3mm程度)回しながらスタータースイッチを使用してください。

遊びを除いて3mm程度



- 5 走行前にパーキングブレーキが完全に解除されているか確認する。➡P.72

## エンジン始動 前ページの続き

エンジンがかからないときは ➡P.80

それでも始動できないときは ➡P.134

エンジンを停止するときは

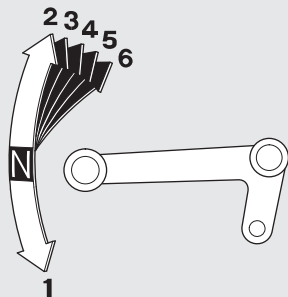
- ① ギアをニュートラルにする。(表示灯点灯)
  - ▶ ニュートラル以外でメインスイッチを○(Off)にすると、クラッチが切れた状態でエンジンが停止します。
- ② メインスイッチを○(Off)に回す。
- ③ 駐車の際には、パーキングブレーキをかける。

➡P.72

# ギアチェンジ

## NC750X

この車のトランスミッションは、下1速、上5速シフトの6速リターン式です。速度に応じてギアを切り換える必要があります。



走行前に、サイドスタンドが完全に納まっているか確認してください。  
サイドスタンドを出したままギアチェンジを行うと、エンジンが停止します。

## 速度範囲

- |     |               |
|-----|---------------|
| 1 速 | 0 - 50 km/h   |
| 2 速 | 25 - 80 km/h  |
| 3 速 | 30 - 105 km/h |
| 4 速 | 40 - 135 km/h |
| 5 速 | 50 - 160 km/h |
| 6 速 | 60 km/h 以上    |

## シフトダウンについて

追い越しなど、強力な加速が必要なときはシフトダウンをします。高い速度でのシフトダウンは、尻振りなどの原因や、走行安定性を損なうほか、エンジンやトランスミッションに悪影響を与えます。次の速度内で行ってください。

## シフトダウン可能限界速度

- |         |             |
|---------|-------------|
| 6 速→5 速 | 160 km/h 以下 |
| 5 速→4 速 | 135 km/h 以下 |
| 4 速→3 速 | 105 km/h 以下 |
| 3 速→2 速 | 80 km/h 以下  |
| 2 速→1 速 | 50 km/h 以下  |

## ギアチェンジ 前ページの続き

### NC750X Dual Clutch Transmission

この車は6速オートマチックトランスミッションを装備しています。ATモード時には自動的に変速し、MTモード時にはスイッチ操作で変速することができます。

### 速度範囲

1 速 0 - 50 km/h

2 速 25 - 80 km/h

3 速 30 - 105 km/h

4 速 40 - 135 km/h

5 速 50 - 160 km/h

6 速 60 km/h 以上

### シフトダウンについて

追い越しなど、強力な加速が必要なときはシフトダウンをします。高い速度でのシフトダウンは、尻振りなどの原因や、走行安定性を損なうほか、エンジンやトランスミッションに悪影響を与えます。次の速度内で行ってください。

### シフトダウン可能限界速度

6 速→5 速 160 km/h 以下

5 速→4 速 135 km/h 以下

4 速→3 速 105 km/h 以下

3 速→2 速 80 km/h 以下

2 速→1 速 50 km/h 以下

## NC750X Dual Clutch Transmission

### DCT（デュアルクラッチトランスミッション）

DCTにはATモード（D）とMTモード（M）が装備されています。

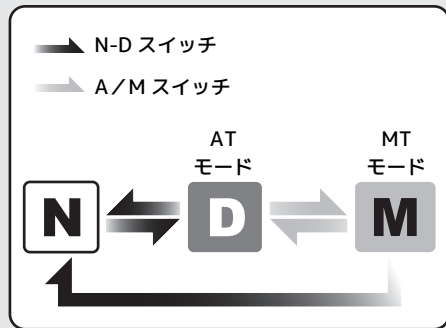
ATモード（D）では、走行状況に合わせた最適なタイミングで自動的にシフトアップ・シフトダウンが可能です。

MTモード（M）では、シフトスイッチ操作により、マニュアルでのシフトアップ・シフトダウンが可能です。

- ▶ DCTシステムを正常に機能させるため、タイヤとスプロケットは前後とも指定のものをお使いください。

DCTシステムは自己診断機能を備えており、エンジン始動直後にセルフチェックを実行します。

その為数秒間は、ATモード（D）に切り換えできません。



## ギアチェンジ 前ページの続き

### ニュートラル (N) :

メインスイッチを **I** (On) にすると自動的に選択されます。

### メインスイッチを **I** (On) にしてもニュートラルにならない場合 :

- メインスイッチを **O** (Off) にし、再度 **I** (On) にする
- それでもニュートラルが選択されない場合

**➡ P.140**

- ▶ ギアがニュートラルに切り換わる時に音がすることがありますが、異常ではありません。

### N と D の切り換え可能な条件 :

- 停止した状態でアイドリングしている
- スロットルを完全に閉じている
  - ▶ スロットル操作中は N と D の切り換えはできません。
- ホイールが静止している
  - ▶ ホイールが回転している状態では、N と D の切り換えはできません。
- サイドスタンドが格納されている

#### アドバイス

クラッチの損傷をさけるため、長時間上り坂でスロットルを操作して停止状態を保たないでください。

### オートマチック (AT) モード：

このモードでは走行状況に従って自動的にギアが変速されます。

シフトアップスイッチ (+)、シフトダウンスイッチ (-) を使って、一時的にギアチェンジすることができます。カーブの手前など、一時的に減速したいときに便利です。➡P.89

追い越しや登坂、引き離しなど、より大きな駆動力が必要な場合は、D レベルを変更することができます。

D レベルを上げることでより高いエンジン回転数を使用できます。

D レベルは、ライディングモードで USER モードを選択しているときに設定したい値へ変更が可能です。

### マニュアル (MT) モード：

6 速マニュアル操作です。

シフトスイッチ操作により、任意に 1 速～6 速を選択できます。➡P.89

## ギアチェンジ 前ページの続き

### ニュートラルと AT、MT モードの切り換え

#### ■ニュートラル (N) から AT モードへの切り換え

N-D スイッチの D 側を押します (①)。

D 表示が点灯し (②)、ギアポジション表示に "1" が表示され、ギアが 1 速に入ります。

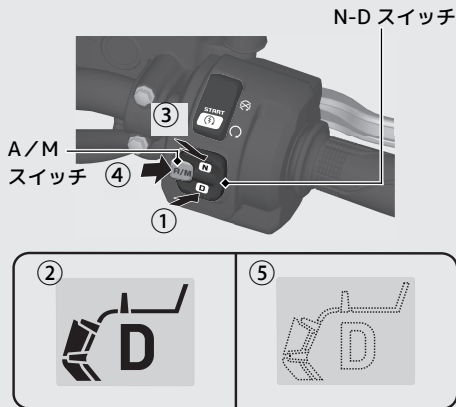
#### ■AT、MT モードからニュートラルへの切り換え

N-D スイッチの N 側を押します (③)。

#### ■AT モードと MT モードの切り換え

A / M スイッチを押します (④)。

MT モード選択時は、D 表示は点灯しません (⑤)。



## MT モード時の走行

シフトアップスイッチ (+)、シフトダウンスイッチ (-) でシフトアップ、シフトダウンを行います。

選択されたギアは、ギアポジション表示に表示されます。

- ▶ MT モード時にギアは自動的にシフトアップしません。エンジン回転数がレッドゾーンに入らないようにしてください。
- ▶ MT モード時でも低速になると、ギアは自動的にシフトダウンします。
- ▶ MT モード時でも発進は 1 速から行います。

## ギアチェンジの操作

### シフトアップ：

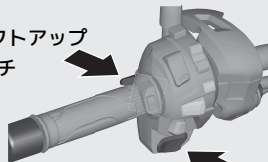
シフトアップスイッチ (+) を押します (⑥)。

### シフトダウン：

シフトダウンスイッチ (-) を押します (⑦)。

- ▶ シフトスイッチを押したままでは連続で変速しません。続けて変速をするときは、一度シフトスイッチから指を離して再びシフトスイッチを押してください。

⑥ シフトアップ  
スイッチ



⑦ シフトダウン  
スイッチ

## シフト制御

エンジン回転数がレブリミットを越える場合はシフトダウンはできません。

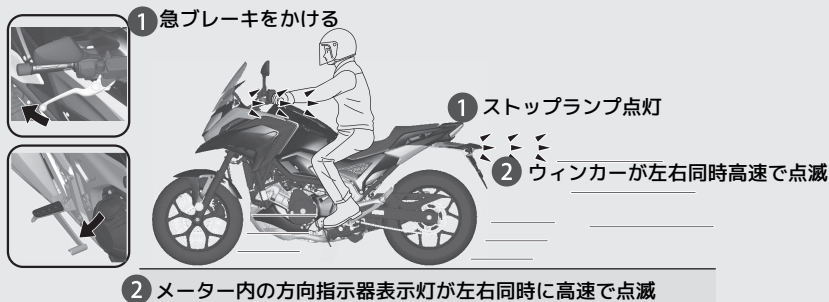
# エマージェンシーストップシグナル

エマージェンシーストップシグナルは、自車が急ブレーキをかけたことをウィンカーが左右同時自動的に高速で点滅して後続車に知らせ、追突される可能性を低減するシステムです。50 km/h 以上で走行しているときに急ブレーキをかけると作動します。

エマージェンシーストップシグナルは、以下の状態になると作動が停止します。

- ブレーキレバーおよびペダルを離したとき
- ABS が停止したとき
- 急減速でなくなったとき
- ハザードスイッチを ON にしたとき

## 作動の仕組み

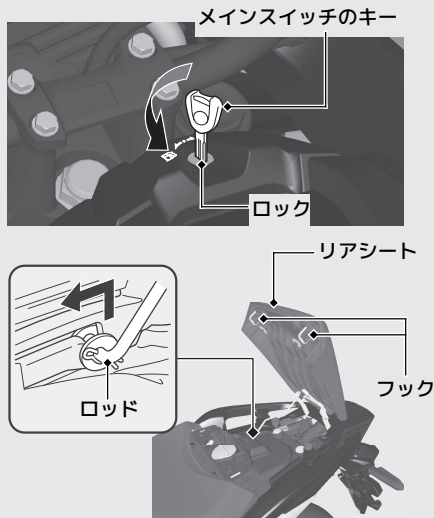


- ▶ エマージェンシーストップシグナルは、追突されるおそれを低減するシステムであり、追突を完全に防ぐものではありません。運転するときは不必要な急ブレーキを避け、安全運転を心がけてください。
- ▶ ハザードスイッチが ON のときは、エマージェンシーストップシグナルは作動しません。
- ▶ ABS が一定時間以上作動しないとき、システムが作動しない場合があります。

# 燃料補給

燃料補給にはリアシートを開ける必要があります。

## リアシート

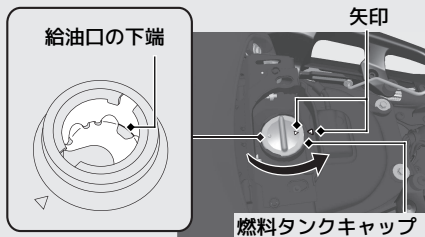


## 開けかた

- ① メインスイッチのキーをロックに差し込み、左に回してロックを解除する。
- ② リアシート前部を持ち上げる。

## 閉じかた

- ① ロッドを上方に引き上げる。
- ② シート前部を押し下げ、ロックする。
  - ▶ シート前部を軽く持ち上げて、左右のフックにロックがかかっていることを確認してください。
  - ▶ メインスイッチのキーをシート下に置き忘れた状態でシートを閉じると、自動的にロックされ、キーを取り出せなくなりますので注意してください。
- ③ キーを取り外す。



燃料がにじみ出ることがあるので、給油口の下  
端以上入れないでください。

使用燃料：無鉛レギュラーガソリン  
タンク容量：14 ℓ

燃料についての注意 ➡ P.8

### 燃料タンクキャップの開けかた

- ① リアシートを開ける。 ➡ P.92
- ② 燃料タンクキャップを左に回して開ける。

### 燃料タンクキャップの閉じかた

- ① 燃料タンクキャップを右に回して閉める。
  - ▶ 燃料タンクキャップの矢印とタンク上面の矢印が合うところまで確実に回してください。
- ② リアシートを閉じる。

## ⚠ 警告

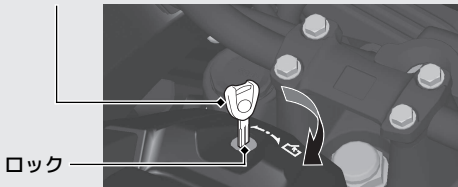
ガソリンは燃えやすいため、ヤケドを負ったり、爆発して重大な傷害に至る可能性があります。

燃料補給およびガソリンの取り扱い ➡ P.8

# その他装備の使いかた

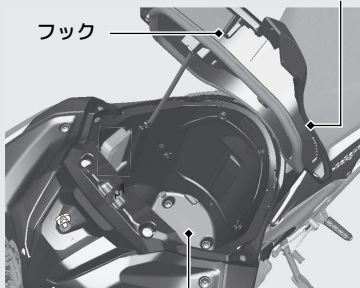
## ラゲッジボックス

### メインスイッチのキー



ロック

### ラゲッジボックススリッド



フック

### ラゲッジボックス

## 開けかた

- ① メインスイッチのキーをロックに差し込み、右に回してロックを解除する。
- ② ラゲッジボックススリッド前部を持ち上げる。

## 閉じかた

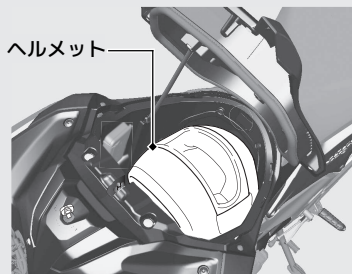
- ① ラゲッジボックススリッド前部を押し下げ、ロックする。
  - ▶ ラゲッジボックススリッド前部を軽く持ち上げて、ロックがかかっていることを確認してください。
  - ▶ メインスイッチのキーをラゲッジボックス内に置き忘れた状態でラゲッジボックススリッドを閉じると、自動的にロックされ、キーを取り出せなくなりますので注意してください。
- ② キーを取り外す。

最大積載量を超えて荷物を積まないでください。

### 最大積載量: 5 kg

- ▶ ラゲッジボックス内に貴重品やこわれやすいもの、熱の影響を受けやすいものは入れないでください。

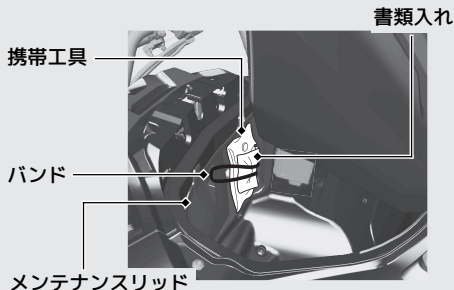
ラゲッジボックスにヘルメットを収納することができます。ヘルメットの前側を上方に向けて収納してください。



- ▶ ヘルメットの種類や形状、大きさなどにより、一部収納できない場合があります。

### 携帯工具／書類入れ

携帯工具と書類入れはメンテナンススリッド（ラゲッジボックス内）の上にバンドで収納します。



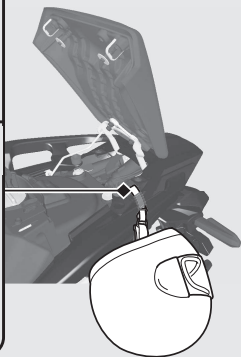
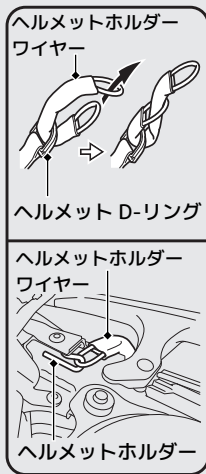
- ▶ 携帯工具と書類入れは、図のようにメンテナンススリッドの上に格納し、バンドでしっかりと固定してください。

ラゲッジボックスの開けかた ➡ P.94

## その他装備の使いかた 前ページの続き

### ヘルメットホルダー

ヘルメットホルダーはリアシート下にありません。ヘルメットホルダーワイヤーは携帯工具に入っています。



▶ ヘルメットホルダーは駐車時のみお使いください。

リアシートの開けかた → P.92

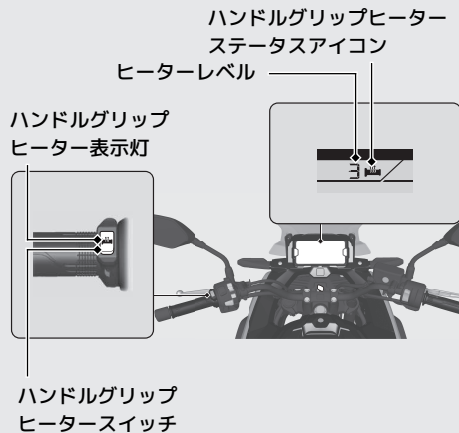
### 警告

ヘルメットホルダーにヘルメットをつけたまま走行しないでください。

走行の妨げになり、重傷を負ったり死亡したりする事故が発生することがあります。

## ハンドルグリップヒーター

この車は、運転する際に手元を暖めるハンドルグリップヒーターを装備しています。ハンドルグリップヒーターを使用する際は、手袋を着用してください。



## その他装備の使いかた 前ページの続き

### ハンドルグリップヒーター表示灯：

ハンドルグリップヒーター作動時に点灯する。ハンドルグリップヒーターを ON にしたとき、またはヒーターレベルを変更したときに、選択しているヒーターレベルを表示灯の点滅回数で表示する。（例えばヒーターレベル 5 を選択した場合、表示灯は 5 回の点滅を 7 回繰り返します。）

2 秒ごとに点滅したときは ➡ P.142

### ヒーターレベル：

ヒーターレベルを変更したときに数秒間表示する。

“E1”、“E2”、“E3” が表示されたときは

➡ P.142



### ハンドルグリップヒーターステータスアイコン：

ハンドルグリップヒーター作動時に表示する。

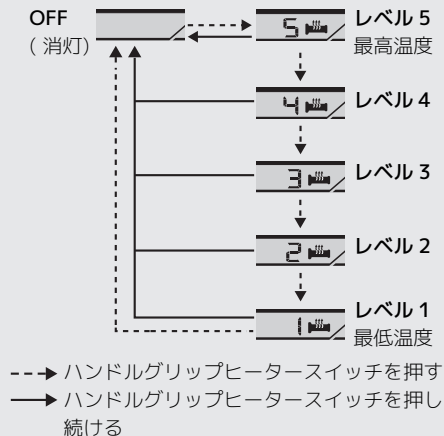
### ハンドルグリップヒーターの使いかた

- ① エンジンを開始する。
- ② ハンドルグリップヒータースイッチを押し、ハンドルグリップヒーターを ON にする。
- ③ ハンドルグリップヒータースイッチを押し、ヒーターレベルを選択する。
  - ▶ ハンドルグリップヒーターの温度は外気温によって変化するので、暖かい日の高温設定はさけてください。
  - ▶ 走行中は、ハンドルグリップヒータースイッチの操作を行わないでください。
- ④ OFF にするには、ハンドルグリップヒーター表示灯が消えるまでハンドルグリップヒータースイッチを押し。
  - ▶ ハンドルグリップヒータースイッチを押し続けることでも OFF にできます。

アイドリング状態での長時間のご使用はさけてください。バッテリーあがりの原因となります。

メインスイッチを **○** (Off) にした場合、選択しているヒーターレベルは保持されます。

- ▶ ヒーターレベルの変更操作後、5 秒以内にメインスイッチを **○** (Off) にした場合、ヒーターレベルは保持されません。



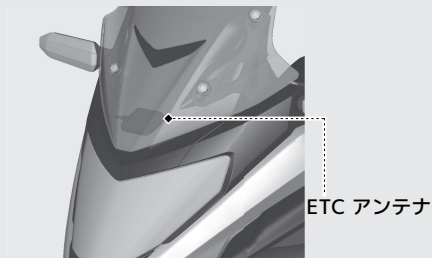
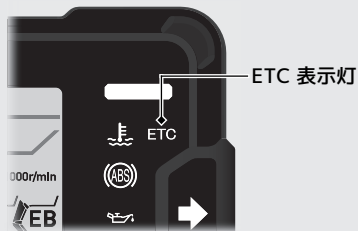
## その他装備の使いかた 前ページの続き

### ETC 車載器 / ETC 表示灯 / ETC アンテナ

ETC 車載器の取り扱いについては、別冊の ETC 車載器取扱説明書をお読みください。



ETC 車載器



ETC アンテナはアッパーカウルの中にあります。

# メンテナンス

メンテナンスを行う前に必ず「メンテナンスの基礎知識」をお読みください。  
また、サービスデータについては「スペック」を参照ください。

メンテナンスの基礎知識 .....	P. 102	ブレーキレバーの距離調整 .....	P. 131
主要部品の脱着方法 .....	P. 113	リアサスペンションの調整 .....	P. 132
クリップ .....	P. 113		
バッテリー .....	P. 114		
メンテナンスリッド .....	P. 115		
□アーフェアリング .....	P. 116		
エンジンオイル .....	P. 118		
冷却水 .....	P. 120		
ブレーキ .....	P. 122		
ドライブチェーン .....	P. 125		
クラッチ .....	P. 126		
ブリーザードレーン .....	P. 129		
スロットル .....	P. 130		
その他の調整 .....	P. 131		

## メンテナンスの基礎知識

### メンテナンスの重要性

お車をご使用の方の安全と車を快適にご使用いただくために、日常のお車の使用状況に応じて、お客様の判断で適時行っていただく日常点検と、1年ごと（12か月ごと）、2年ごと（24か月ごと）の定期点検整備が義務付けられています。安全快適にお乗りいただくために、必ず実施してください。

### 警告

誤った点検整備や、不適当な整備、未修理は、転倒事故などを起こす原因となり、死亡または重大な傷害に至る可能性があります。

- ・ 点検整備は、取扱説明書・メンテナンスノートに記載された点検方法・要領を守り、必ず実施してください。
- ・ 異状箇所は乗車前に修理してください。

### 安全なメンテナンスのために

メンテナンスにあたっては、次のことに注意してください。

- エンジンを停止し、キーを抜いた状態で行う
- 平坦地で足場のしっかりとした場所で行う
- エンジン、マフラー、ブレーキなど高温になる部分はヤケドのおそれがあるので、冷えるまで触れない
- エンジンを始動して作業をする場合は、換気を十分に行う

### 日常点検

安全快適にご使用いただくために法令に従って、日常のお車の使用状況に応じて、お客様の判断で適時行う点検です。

点検時期の目安としては、長距離走行や洗車時、給油時などに実施し、その結果をメンテナンスレコードに記入してください。

異音や異状を感じたときは、直ちに Honda 販売店にご相談ください。

## Ⅰ 日常点検項目

この車には下記の日常点検項目が適用されます。

### ● ブレーキ

- ・ レバーの遊び（油圧式）
- ・ ペダルの遊び（油圧式）
- ・ ブレーキの効き具合
- ・ ブレーキ液の量

### ● タイヤ

- ・ 空気圧
- ・ 亀裂、損傷
- ・ 異状な摩耗
- ・ 溝の深さ

### ● エンジン

- ・ 冷却水の量
- ・ オイルの量
- ・ かかり具合、異音
- ・ 低速、加速の状態

### ● 灯火装置および方向指示器

- 運行において異状が認められた箇所
- ドライブチェーンの緩み（Honda 指定）

## 定期点検

安全快適にお車をご使用いただくために、定期点検を必ず実施してください。

また、これらの他にも使い始めてから1か月目（または、1,000 km 時）に行う点検、Honda が指定する点検整備項目もあります。

## Ⅰ 道路運送車両法で定められた点検

道路運送車両法で定められた点検には、以下の種類があります。

- 日常点検
- 1年ごと（12か月ごと）に行う点検
- 2年ごと（24か月ごと）に行う点検

小型二輪車 [250 cm<sup>3</sup> (cc) を超えるもの] は、1回目を登録日から3年後に、2回目以降は2年ごとに、国で定める継続検査が必要です。

## ■ご自身で点検を実施する場合

安全のため、ご自分の知識と技量に合わせた範囲内で行ってください。難しいと思われる内容については、Honda 販売店にご相談ください。

点検結果は、メンテナンスノートの定期点検整備記録簿に記入し、大切に保存、携行してください。

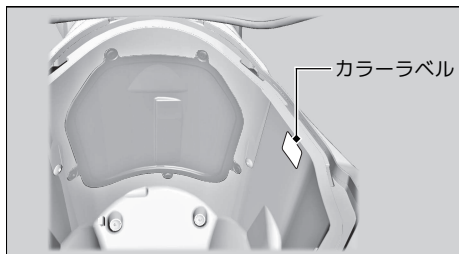
## ■1 か月目点検について

新車から1 か月目（または、1,000 km 時）は、特に初期の点検整備が車の寿命に影響することを重視し、点検を無料でお取り扱いいたします。お買いあげの Honda 販売店で行ってください。他の販売店にてお受けになると有料となる場合があります。また、オイル代、消耗部品代および交換工賃等は実費をいただきます。詳細については、メンテナンスノートをご覧ください。

## ■交換部品について

整備の際は、Honda 純正部品を使用してください。色物部品をご注文のときは、カラーラベルに記載されているモデル名、カラーおよびコードをお知らせください。

カラーラベルは、ラゲッジボックスを開けると確認できます。▶ P. 94



## ⚠ 警告

Honda 純正部品以外のアクセサリ・部品の使用や、不正な改造は思わぬ事故の原因となり、重傷を負ったり、死亡したりすることがあります。

Honda 純正部品を使用してください。

## バッテリー

この車は、メンテナンスフリータイプのバッテリーを使用しており、バッテリー液の点検、補給は必要ありません。バッテリーのターミナル部に汚れや腐食がある場合のみ清掃してください。

また、密閉式の液口キャップは絶対に取り外さないでください。バッテリー充電時も液口キャップを取り外す必要はありません。

### アドバイス

バッテリーには寿命があります。交換時期については、Honda 販売店にご相談ください。交換する場合は、必ず同型式のメンテナンスフリーバッテリーを使用してください。

## Ⅰ 万一の場合の応急処置

以下のようなときは、応急処置したあと、直ちに医師の診察を受けてください。

- 電解液が眼に付着したとき
  - ▶ コップなどに入れた水で、15分以上洗浄してください。加圧された水での洗浄は、眼を痛めるおそれがあります。

- 電解液が皮膚に付着したとき
  - ▶ 電解液のついた服を脱ぎ、皮膚を多量の水で洗浄してください。
- 電解液を飲み込んだとき
  - ▶ 水、または牛乳を飲んでください。

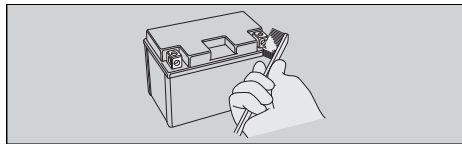
## 警告

バッテリーには、希硫酸が電解液として含まれています。希硫酸は腐食性が強く、眼や皮膚に付着すると重いヤケドを負います。

- ・ バッテリーの近くで作業するときは、保護メガネと保護服を着用
- ・ バッテリーを子供の手の届く所に置かない
- ・ ショートによる火花やたばこなどの火気に十分注意する

## ターミナル部の清掃

1. バッテリーを取り外す。▶ P. 114
2. ターミナル部が腐食して白い粉が付いている場合は、ぬるま湯を注いで拭く。
3. ターミナル部の腐食が著しいときは、ワイヤーブラシまたはサンドペーパーで磨く。



4. 清掃後、バッテリーを取り付ける。

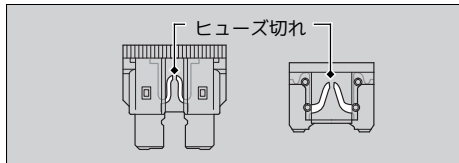
電装部品やアクセサリを取り付けるときは純正アクセサリをご使用ください。それ以外のものを使用するとバッテリーあがりや故障の原因となります。

## ヒューズ

この車の電気回路は、ヒューズで保護されています。電装部品が動作しないときは、ヒューズを調べ、必要に応じて交換してください。▶ P. 143

## ヒューズの点検・交換

メインスイッチを○(Off)にして、ヒューズを取り外して点検します。切れている場合は、指定されている容量のヒューズと交換してください。ヒューズの容量はスペックページをご確認ください。▶ P. 161



### アドバイス

指定容量を超えるヒューズを使用すると、配線の過熱・焼損の原因になるので絶対に使用しないでください。

交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、ヒューズの劣化以外の原因が考えられます。Honda 販売店にご相談ください。

## エンジンオイル（トランスミッションオイル）

エンジンオイルは走行距離や走行状況、時間の経過とともに劣化したり減っていきます。そのため、定期交換時期に行う交換だけではなく日常点検によるオイル点検・補給が必要です。汚れたり古くなったオイルはエンジンに悪影響を与えますので早めに交換してください。

オイル交換は Honda 販売店で行うことを推奨します。交換時期はスペックページをご確認ください。▶ P. 160

## エンジンオイル（トランスミッションオイル）の選びかた

**推奨エンジンオイル（トランスミッションオイル）：**  
Honda 純正 ウルトラ G1

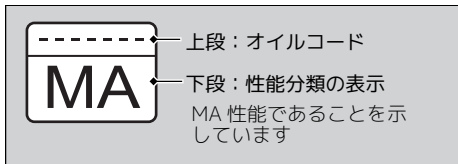
相当品をご使用の場合は、オイル容器の表示を確認し、下記の全ての規格を満たしているオイルをお選びください。全ての規格を満たしている場合でも特性が異なりこの車に適合しない場合があります。

- JASO T 903 規格<sup>※1</sup>：MA
- SAE 規格<sup>※2</sup>：10W-30

- API 分類<sup>※3</sup>：SG・SH・SJ・SL 級相当

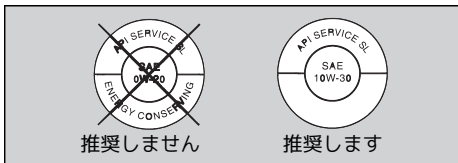
また、必要以上に摩擦を低減するオイル添加剤はエンジンやクラッチの性能や寿命に悪影響を与える場合がありますので使用しないでください。

- ※1: JASO T 903 規格は、二輪車用4サイクルエンジンオイルの性能を分類する規格です。適合し届け出されたオイルの容器には、次の表示があります。



- ※2: SAE 規格は、オイルの粘度を定めた規格です。

- ※3: API 分類は、エンジンオイルのグレードに関する分類です。API マークの入っている相当品を使用する場合、下記のものをご使用ください。



## ブレーキ液

銘柄の異なるブレーキ液を使用しないでください。ブレーキ液が変質したりブレーキ装置の故障の原因となることがあります。

### アドバイス

ブレーキ液は、プラスチックや塗装面を損傷します。漏れたブレーキ液は直ちに拭き取ってください。

### 指定ブレーキ液：

Honda 純正ブレーキフルード  
DOT4

## 冷却水

Honda 純正ウルトララジエーター液を、蒸留水または水道水で下記濃度に薄めてお使いください。

標準濃度：50%

濃度による不凍温度：

30% の場合：-16°C まで

50% の場合：-37°C まで

### アドバイス

指定以外のラジエーター液や不適当な水（井戸水や天然水）を使うと、サビなどの原因となります。

## エアクリーナー

この車には、ろ紙にオイルを含ませたビスカス式のエアクリーナーエレメントが装備されており点検・清掃は不要ですが定期的な交換が必要です。エアクリーナーエレメントの交換は、Honda 販売店にご相談ください。交換時期はスペックページをご確認ください。➡ P. 160

## ドライブチェーン

チェーンは、定期的に点検および給油を行ってください。また悪路走行が多い場合や連続高速走行、急加速を繰り返すような運転を行う場合には、頻繁に点検を行ってください。▶ P. 125

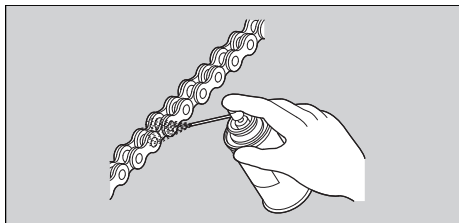
チェーンの異常（回転が滑らかでない、異音、固着、ローラーやOリングの損傷）は、Honda 販売店にご相談ください。

### ■ドライブチェーンの清掃と給油

緩み（たるみ）の点検後、車体を前後に動かし、チェーンやスプロケットに付着した泥、汚れを中性洗剤またはチェーンクリーナーを使用し、乾いた布などで落とします。汚れがひどい場合、やわらかいブラシを使用してください。汚れを落としたあとは、十分に乾燥させ、推奨オイルをチェーンローラーの両側に給油してください。

#### 推奨オイル：

Honda 純正チェーンオイルまたは相当品



チェーンは、ゴムのシールを使用しているため、スチーム / 高圧洗浄、ワイヤーブラシ、ガソリンやベンゼンなどの揮発性溶剤、研磨材が入っている洗剤は使用しないでください。

シール（Oリング）チェーン専用の、クリーナーや潤滑油（チェーンスプレーなど）以外は使用しないでください。

オイルがブレーキやタイヤに付着しないようにしてください。チェーンにオイルをつけ過ぎると、衣服や車に飛び散り汚しますので、オイルをつけ過ぎないように注意してください。

## ブリーザードレーン

エンジンの性能を維持するためには、定期的なブリーザードレーンの清掃が必要です。▶ P. 129

## タイヤ

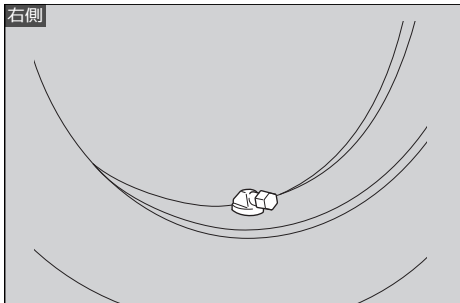
### ■ 空気圧の点検

タイヤの空気圧は徐々に低下します。また、タイヤによっては空気圧不足が見た目ではわかりづらいため、少なくとも1か月ごとにタイヤゲージを使用して空気圧を点検してください。

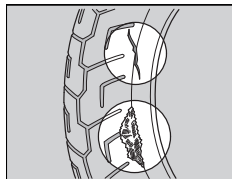
タイヤは、走行後は温まり空気圧が高くなる場合がありますので、必ず冷えた状態で点検してください。

エアバルブの向きがかわっていても、もとに戻そうとせず、Honda 販売店にご相談ください。

右側

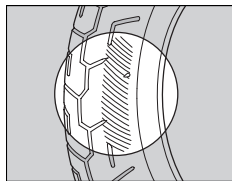


### ■ 亀裂と損傷の点検



タイヤの全周に、亀裂や損傷、ひび割れおよび釘、石、その他の異物が刺さったり、かみ込んだりしていないかを点検します。道路の縁石などにタイヤ側面を接触させたり、大きな凹みや突起物を乗り越えたときは、必ず点検してください。

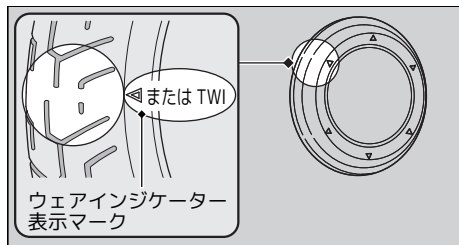
### ■ 異状な摩耗の点検



タイヤの接地面が異状に摩耗していないかを点検します。

## 溝の深さの点検

ウェアインジケーター（スリップサイン）により溝の深さを確認します。サインが現れたときは、直ちに交換してください。また、安全走行のため、トレッド中央部の溝の深さが最小残溝量になったときは交換してください。



## 警告

過度にすり減ったタイヤの使用や、不適正な空気圧での運転は、転倒事故などを起こす原因となり、死亡または重大な傷害に至る可能性があります。

取扱説明書に記載されたタイヤの空気圧を守り、規定の数値を超えてすり減ったタイヤは交換してください。

タイヤを交換するときは、必ず指定タイヤを使用してください。指定以外のタイヤは、操縦性や走行安定性に悪影響を与えることがありますので使用しないでください。

タイヤの交換は、Honda 販売店にご相談ください。指定タイヤ、空気圧、最小残溝量（溝の深さ）はスペックページをご確認ください。▶ P. 160

- ホイールバランス調整のためにバランスウェイトを貼り付けるときは、Honda 純正部品、又は同等品のバランスウェイトを使用してください。

## 警告

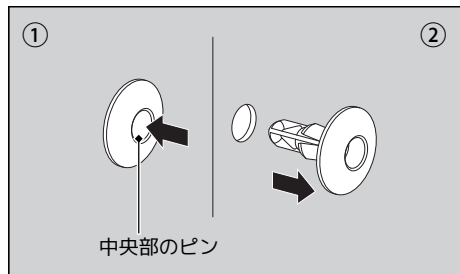
指定以外のタイヤを取り付けると、操縦性や走行安定性に悪影響を与えることがあります。また、そのことが原因で転倒事故などを起こし、死亡または重大な傷害に至る可能性があります。

タイヤ交換時には、必ず取扱説明書に記載された指定タイヤを取り付けてください。

## クリップ

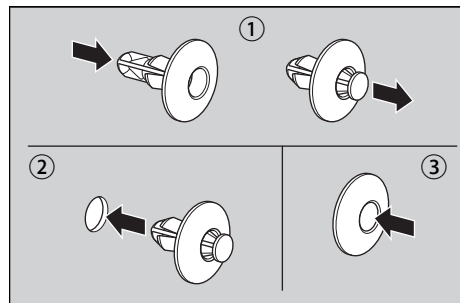
### 取り外し

1. 中央部のピンを押し込んでロックを解除する。
2. クリップを引き抜く。

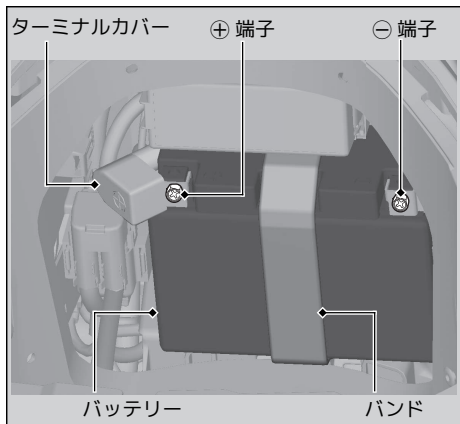


### 取り付け

1. ピンの下端を押し戻して取り付け状態にする。
2. クリップを穴に差し込む。
3. ピンを軽く押してロックする。



## バッテリー



### 取り外し

メインスイッチが○ (Off) になっていることを確認してください。

1. ラゲッジボックスを開ける。▶ P. 94

2. メンテナンススリッドを取り外す。▶ P. 115
3. バンドを取り外す。
4. ⊖ アース端子のボルトを外し、⊖ コードを外す。
5. ターミナルカバーをめくり、⊕ 端子のボルトを外し、⊕ コードを外す。
6. 端子のナットを落とさないよう、バッテリーを取り出す。

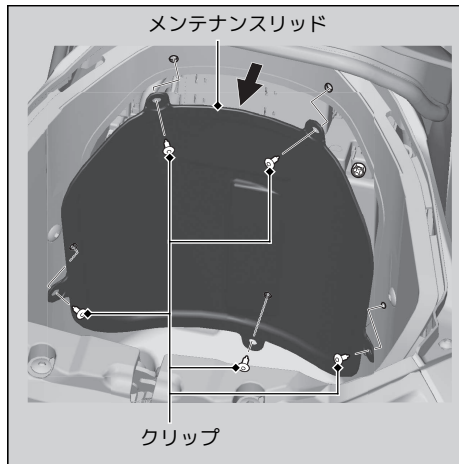
### 取り付け

取り付けは、取り外しの逆の手順で行います。バッテリーコードは、必ず先に⊕側より取り付けてください。また、ターミナル部にゆるみが生じないように、確実にボルトを締め付けてください。

バッテリーコードを再び取り付けたときに、時計の表示がずれている場合は合わせ直してください。▶ P. 38

バッテリーの取り扱いについてはメンテナンスの基礎知識をご確認ください。▶ P. 105

## メンテナンススリッド



### Ⅰ取り外し

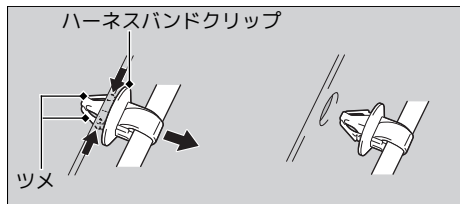
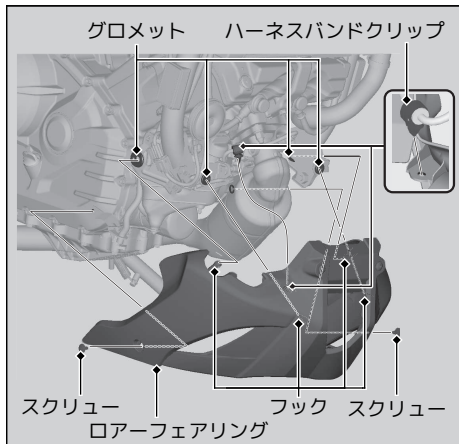
1. ラゲッジボックスを開ける。▶ P. 94
2. クリップを外す。▶ P. 113
3. メンテナンススリッドを取り外す。

### Ⅱ取り付け

取り付けは、取り外しの逆の手順で行います。

## ロアーフェアリング

NC750X



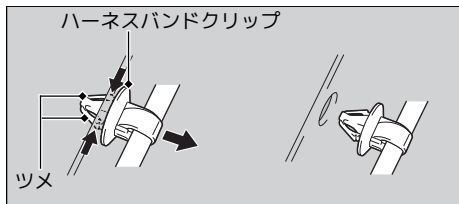
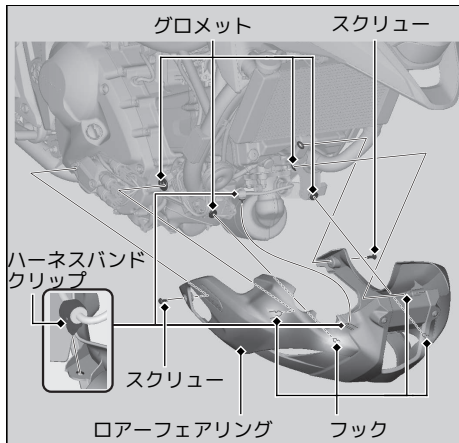
### 取り外し

1. スクリューを取り外す。
2. フックをグロメットから外す。
3. ツメを押しながらハーネスバンドクリップを外し、ロアーフェアリングを取り外す。  
▶ ハーネスワイヤーを損傷させないように注意してください。

### 取り付け

取り付けは、取り外しの逆の手順で行います。

NC750X Dual Clutch Transmission



## 取り外し

1. スクリューを取り外す。
2. フックをグロメットから外す。
3. ツメを押しながらハーネスバンドクリップを外し、ローフェアリングを取り外す。  
▶ ハーネスワイヤーを損傷させないように注意してください。

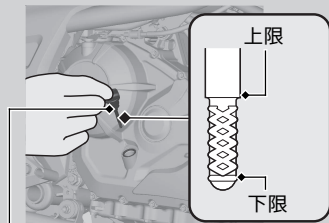
## 取り付け

取り付けは、取り外しの逆の手順で行います。

## オイルの量の点検

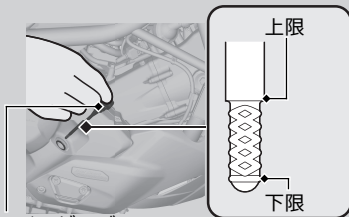
1. エンジンが冷えている場合は、3～5分ほどアイドリングさせる。
2. メインスイッチを○（Off）にしてエンジンを止め、2～3分間待つ。
3. 足場のしっかりとした平坦地にサイドスタンドを立てる。
4. オイルレベルゲージを外す。
5. 布等でオイルレベルゲージについたオイルを拭く。
6. 車を倒さないようにまっすぐに起こす。
7. オイルレベルゲージをねじ込まずに差し込む。
8. オイルがオイルレベルゲージの上限と下限の間にあることを確認する。
9. オイルレベルゲージを確実に取り付ける。

NC750X



オイルレベルゲージ

NC750X Dual Clutch Transmission



オイルレベルゲージ

## オイルの補給

---

エンジンオイルが不足している、またはオイルレベルが下限に近いときは、推奨エンジンオイルを上限まで補給してください。▶ P. 107, ▶ P. 160

1. エンジンオイルの点検後、オイルレベルゲージで確認 (▶ P. 118) しながら、オイルを注入口より補給する。
  - ▶ 上限を超えて補給しないでください。
  - ▶ ゴミが入らないようにしてください。
  - ▶ オイルをこぼしたときは完全に拭き取ってください。
2. オイルレベルゲージを確実に取り付ける。

### アドバイス

オイルは規定量より多くても少なくても、エンジンに悪影響を与えます。また銘柄やグレードの異なるオイルを混用しないでください。

推奨エンジンオイルやオイルの選びかたについてはメンテナンスの基礎知識をご確認ください。▶ P. 107

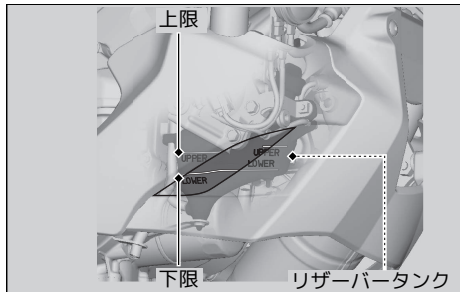
## オイル漏れの点検

---

エンジンなどから、オイルが漏れていないことを確認します。

## 冷却水の量の点検

1. 足場のしっかりとした平坦地にサイドスタンドを立てる。
2. 車を倒さないようにまっすぐに起こす。
3. 冷却水がリザーバタンクの上限（UPPER）と下限（LOWER）の間にあることを確認する。

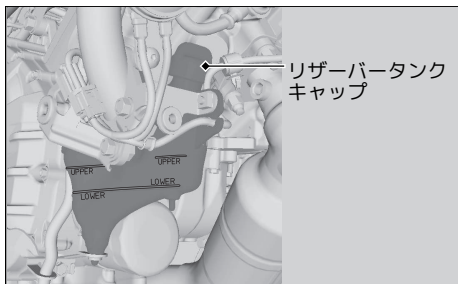


冷却水の減り具合が著しいとき、またはリザーバタンクに冷却水がない場合は水漏れが考えられます。Honda 販売店にご相談ください。

## 冷却水の補給

冷却水の補給はリザーバータンクキャップから行い、ラジエーターキャップは外さないでください。

1. 冷却水の点検後、ロアーフェアリングを取り外す。▶ P. 116 ▶ P. 117
2. リザーバータンクキャップを取り外す。
3. 平坦地で車体を垂直にし、冷却水 (▶ P. 108) のレベルを確認 (▶ P. 120) しながら補給する。
  - ▶ 上限 (UPPER) を超えて補給しないでください。
  - ▶ ゴミが入らないようにしてください。
4. リザーバータンクキャップを確実に取り付ける。
5. ロアーフェアリングを取り付ける



### 警告

エンジンが熱いときにラジエーターキャップを外すと冷却水が噴き出し、重いヤケドを負います。

ラジエーターキャップを外す前には、必ずエンジン、ラジエーターが冷えていることを確認してください。

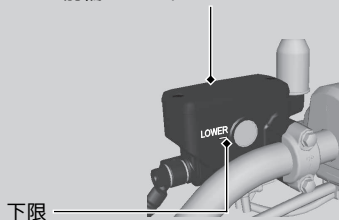
## ブレーキ液の点検

1. 足場のしっかりとした平坦地にサイドスタンドを立てる。
2. **フロント** リザーバータンク上面を水平にし、液面が点検窓の下限（LOWER）以上にあることを確認する。
3. **リア** リザーバータンク上面を水平にし、液面が上限（UPPER）と下限（LOWER）の間にあることを確認する。

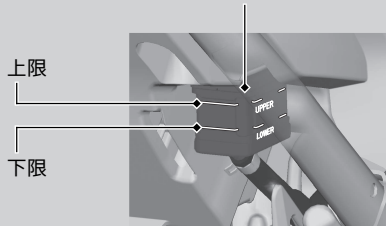
▶ 液面が下限（LOWER）以下の場合は、ブレーキパッドの摩耗の点検を行ってください。

パッドが摩耗していない場合、あるいは液漏れやホースに損傷があるときは Honda 販売店にご相談ください。

**フロント** 前輪ブレーキリザーバータンク



**リア** 後輪ブレーキリザーバータンク



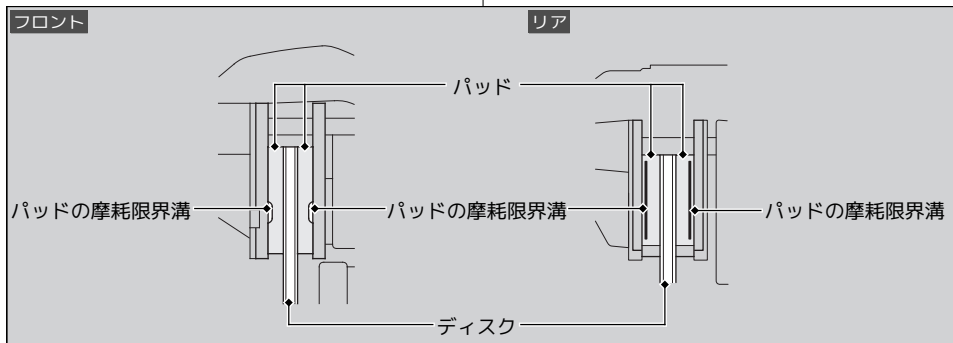
## ブレーキパッドの摩耗の点検

パッドの摩耗限界溝がブレーキディスクの側面に達したら、パッドの摩耗限界です。

摩耗限界に達したら左右同時にパッドを交換してください。

ブレーキパッドの交換は、Honda 販売店にご相談ください。

1. **フロント** ブレーキキャリパーの下側からのぞいて点検します。
2. **リア** ブレーキキャリパーの右後側からのぞいて点検します。

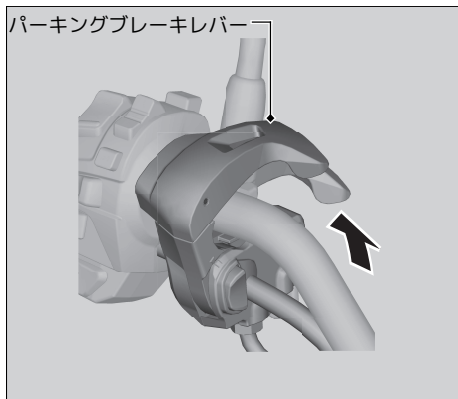


## パーキングブレーキの点検 (Honda 指定1年点検整備項目)

### NC750X Dual Clutch Transmission

1. 足場のしっかりとした平坦地でエンジンを停止させる。
2. パーキングブレーキレバーを引いてから車を押し、パーキングブレーキの効き具合を点検する。

パーキングブレーキの効きが弱い時は Honda 販売店にご相談ください。



## 緩み（たるみ）の点検

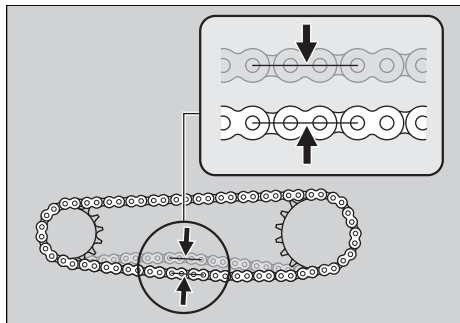
チェーンの緩み（たるみ）が適正かどうか、滑らかに回転するか点検します。緩み（たるみ）が規定の範囲を超えている場合、回転が滑らかでないときは Honda 販売店にご相談ください。

1. トランスミッションをニュートラルに入れて、エンジンを停止する。
2. 足場のしっかりとした平坦地にサイドスタンドを立てる。
3. 前後のスプロケットの中央を手で上下に動かし、チェーンの緩みが規定の範囲内にあることを確認する。

### ドライブチェーンの緩み（たるみ）：

25 - 35 mm

- ▶ 緩みが 50 mm 以上の場合、絶対に走行しないでください。



4. 車体を垂直にし、車体を前後に動かしてチェーンが滑らかに回転することを確認する。
  - ▶ チェーンの回転が滑らかでない場合や、異音が出る場合は清掃と給油を行ってください。▶ P. 109

## クラッチの点検

### NC750X

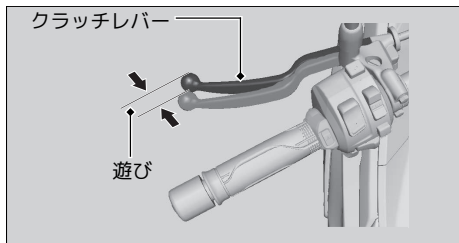
スムーズに動くかどうか、ハンドルを左右にきっても作動が重くないか、クラッチレバーの遊びが適正か点検します。

遊びが規定の範囲を超えている場合は調整してください。

異状を感じた場合やクラッチケーブル外表部に損傷があるときは Honda 販売店にご相談ください。

#### クラッチレバーの遊び：

10 - 20 mm

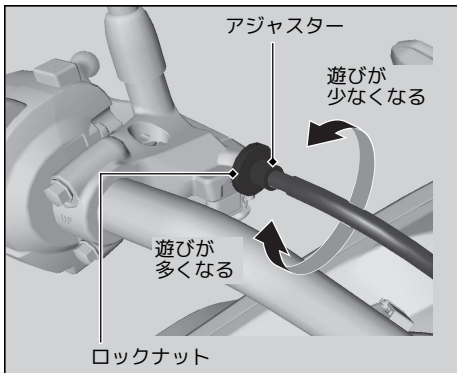


## クラッチの調整

NC750X

調整はクラッチレバー側から行います。

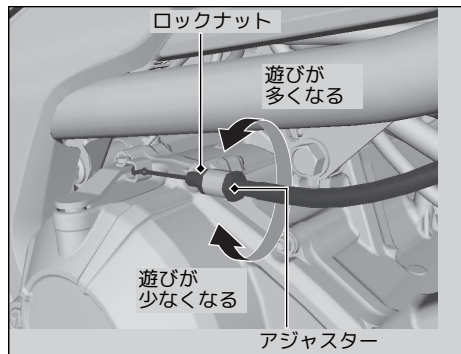
### ■クラッチレバー側の調整（微調整）



1. ロックナットを緩め、遊びが規定の範囲になるまでアジャスターで調整する。
2. ロックナットを締め付け、クラッチレバーの遊びを確認する。

調整しきれない場合、クラッチ側で調整します。

## Ⅰ クラッチ側の調整（主調整）



1. クラッチレバー側のアジャスターで遊びを最大にする。▶ P. 127
2. ロックナットを緩める。

3. 遊びが規定の範囲になるまでアジャスターで調整する。
4. ロックナットを締め付ける。

調整後は、クラッチレバーの遊びを確認してください。

エンジンをかけ、チェンジ操作がスムーズであるか、エンストまたは飛び出し等がないことを確認してください。

規定の数値に調整できない場合や、クラッチが正しく動作しないときは Honda 販売店にご相談ください。

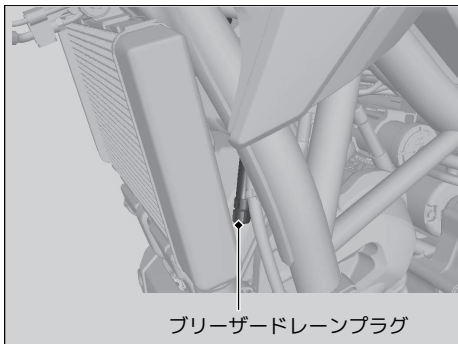
## ブリーザードレーンの清掃 (Honda 指定 1 年点検整備項目)

エンジンの性能を維持するためには、定期的なブリーザードレーンの清掃が必要です。

エンジン停止直後のメンテナンスは、エンジン本体、マフラーやエキゾーストパイプなどが熱くなっています。ヤケドにご注意ください。

### ■ 清掃のしかた

1. ブリーザードレーンプラグの下に受け皿などを用意する。
2. ブリーザードレーンプラグを外し、ブリーザードレーン内の堆積物を取り除く。
3. ブリーザードレーンプラグを確実に取り付ける。



ブリーザードレーンプラグ

## スロットルの点検

---

メインスイッチを○（Off）にした状態でスロットルを作動させ、スムーズに動くかどうか点検します。異状を感じた場合は Honda 販売店にご相談ください。

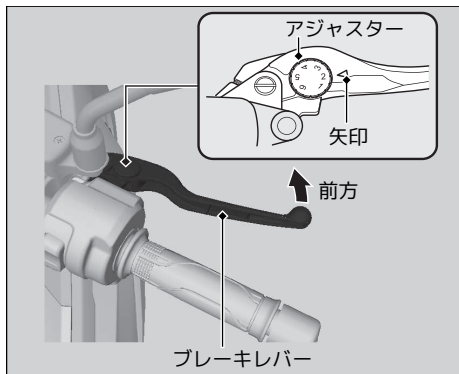
### ブレーキレバーの距離調整

ブレーキレバーに、レバーとハンドルグリップの間隔を調整できるアジャスターが装備されています。

#### 調整方法

レバーを前方に押しながらアジャスターを回し、アジャスターの数字と矢印が合う位置で段階的に調整します。

調整後は、走行する前にブレーキが正常に作動することを確認してください。



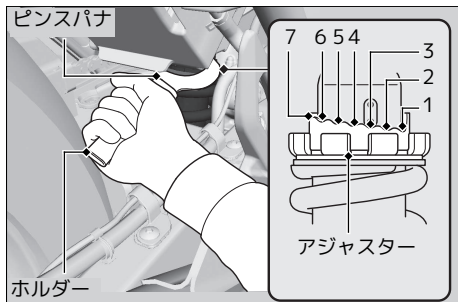
#### アドバイス

調整範囲を超えてアジャスターを回さないください。

## リアサスペンションの調整

### Ⅰ スプリングの強さ

体重や路面の状態に応じ、スプリングの強さを調整できます。調整にはピンスパナとホルダーを使いアジャスターを回して行います。スプリングの強さは1～2にすると弱くなり、4～7にすると強くなります。標準は3です。



#### アドバイス

アジャスターを直接1から7または7から1に無理に回すとリアクッションが破損します。

#### アドバイス

アジャスターは、無理に回さないでください。

# こんなときは

エンジンが始動しない（HISS 表示灯が消灯しない） .....	P. 134
オーバーヒート（水温警告灯が点灯） .....	P. 135
警告灯が点灯／点滅 .....	P. 136
油圧警告灯 .....	P. 136
PGM-FI 警告灯 .....	P. 137
ABS(アンチロックブレーキシステム)警告灯 .....	P. 138
トルクコントロール警告灯 .....	P. 139
走行中にギアポジション表示の“-” 表示が点滅 .....	P. 140
その他の故障表示 .....	P. 141
燃料計の故障表示 .....	P. 141
ハンドルグリップヒーターの故障表示 .....	P. 142

電装部品のトラブル .....	P. 143
ヒューズ切れ .....	P. 143

## エンジンが始動しない（HISS 表示灯が消灯しない）

### スターターモーターは作動するが エンジンが始動しないとき

次の点を確認してください。

- 正しい手順でエンジンをかけているか  
▶ P. 79
- 燃料タンクにガソリンはあるか
- PGM-FI 警告灯が点灯していないか  
▶ 点灯している場合は、直ちに Honda 販売店にご相談ください。
- HISS 表示灯が点灯したままになっていないか  
▶ メインスイッチを○（Off）にしてキーを抜き、再度キーを差し込み、メインスイッチを■（On）にしてください。それでも消灯しないときは、次の点を確認してください。  
他の HISS のキー（予備のキーを含む）が、メインスイッチの近くにあると通信不良の原因となります。

キーに金属製のシールなどを貼ると通信不良の原因となります。

確認しても消灯しない場合は、Honda 販売店にご相談ください。

### スターターモーターが作動せず始動できないとき

次の点を確認してください。

- 正しい手順でエンジンをかけているか  
▶ P. 79
- エンジンストップスイッチが⊗（Stop）になっていないか
- ヒューズが切れていないか ▶ P. 106
- バッテリーターミナル部に緩みや腐食がないか ▶ P. 105

これらに該当しない場合や異常がある場合は、Honda 販売店にご相談ください。

## オーバーヒート（水温警告灯が点灯）

次のようなときは、オーバーヒートです。

- 水温警告灯が点灯している
- 走行時の加速が急に悪くなる

このようなときは直ちに安全な場所に車を停めて次の処置・確認を行ってください。

### アドバイス

オーバーヒートの状態で走行を続けると、エンジン故障の原因となります。

長時間のアイドリングにより、水温警告灯が点灯する場合があります。

## オーバーヒートの処置

1. メインスイッチを○（Off）にしてエンジンを止め、再度メインスイッチを■（On）にする。
2. ラジエーターの冷却ファンが作動するか作動音で確認し、メインスイッチを○（Off）にする。

### 冷却ファンが作動しない場合

故障が考えられますので、エンジンをかけず Honda 販売店にご相談ください。

### 冷却ファンが作動している場合

メインスイッチが○（Off）の状態、エンジンが冷えるのを待ちます。

3. エンジンが冷えてから、リザーバータンクの冷却水を点検し、冷却水が不足していたら補給する。▶P. 120, ▶P. 121
4. ラジエーターホースなどを点検し、水漏れがないか確認する。

### 水漏れがある場合

エンジンをかけず、Honda 販売店にご相談ください。

5. 水温警告灯を確認しながら走行する。  
▶ 異常がなければ走行可能ですが、異常が再発しない場合でも、なるべく早く Honda 販売店で点検を受けてください。

## 油圧警告灯

エンジンオイルの油圧が低下すると点灯します。油圧警告灯が点灯したら、速やかにエンジンを停止し、次の点を確認してください。

### アドバイス

油圧が低下した状態で走行を続けると、エンジンが故障するおそれがあります。

1. オイルレベルを点検し、必要に応じて補給する。▶ P. 118
2. エンジンを始動する。
  - ▶ 油圧警告灯が消えたら、走行できます。
  - ▶ 消灯しない場合は、エンジンを止めて Honda 販売店にご相談ください。
  - ▶ 急な加速をすると油圧警告灯が瞬間的に点灯する場合があります。（特にオイルレベルが下限、下限付近の場合）
  - ▶ オイルが減っていた場合、オイル漏れや故障のおそれがありますので、Honda 販売店で点検を受けてください。

## PGM-FI 警告灯

### 点灯 / 点滅の理由

- エンジンの排気ガス制御システムが異常のとき点灯します。
- エンジン各気筒の失火状態を検知したときに点滅します。

### 点灯したときは

高速走行をさけ、直ちに Honda 販売店で点検を受けてください。

#### アドバイス

PGM-FI 警告灯が点灯したまま運転すると、排気ガス制御システムとエンジンを損傷する場合があります。

### 点滅したときは

枯草などの可燃物のない安全な場所に停車し、10分以上エンジンを停止して冷えるまでお待ちください。

#### アドバイス

エンジン再始動後、PGM-FI 警告灯が再び点滅するときは、50km/h 以下の速度で最寄りの Honda 販売店まで走行し点検を受けてください。

## ABS(アンチロックブレーキシステム)警告灯

警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、Honda 販売店にご相談ください。

- 運転中に点灯または点滅したとき
- メインスイッチを **I** (On) にしても点灯しないとき
- 10 km/h 以上で走行しても消灯しないとき

警告灯が点灯または点滅した場合でも通常のブレーキとしての性能は確保されています。(ABSとしての作動はしません)

ABS 警告灯が消灯しているときに、後輪が持ち上がった状態で後輪を空転させると、警告灯が点滅する場合があります。この場合はメインスイッチを **O** (Off) にし、再度メインスイッチを **I** (On) にします。警告灯が点灯し、速度が約 30 km/h に達して消灯すれば正常です。

## トルクコントロール警告灯

警告灯が以下のような状態になった場合、トルクコントロールの異常が考えられますので、Honda 販売店にご相談ください。

- 走行中に点灯し続けたとき
- メインスイッチを **I** (On) にしても点灯しないとき
- 5 km/h 以上で走行しても消灯しないとき

警告灯が点灯した場合でも走行は可能です。  
(トルクコントロールは作動しません)

- ▶ トルクコントロール作動中に警告灯が点灯したときは、一度スロットルグリップを完全に閉じることで、通常の状態に戻ります。

トルクコントロール警告灯が消灯した状態で、メインスタンドを立てるなどして後輪を空転させた場合、警告灯が点灯する場合があります。この場合はメインスイッチを **O** (Off) にし、再度メインスイッチを **I** (On) にします。警告灯が

点灯し、速度が約 5 km/h に達して消灯すれば正常です。

## 走行中にギアポジション表示の“-”表示が点滅

### NC750X Dual Clutch Transmission

走行中にギアポジション表示の“-”表示が点滅したときはデュアルクラッチトランスミッションの異状が考えられます。

直ちに安全な場所に車を停めて Honda 販売店にご相談ください。

次の処置を試すことで、ご自身で Honda 販売店まで走行できる場合があります。

1. メインスイッチを○ (Off) にする。
2. 再度メインスイッチを| (On) にして、エンジンを始動する。

### エンジンが始動できない場合

メインスイッチを○ (Off) にして、ギアの噛みこみを外すためにお車を前後に少し動かしてください。再度メインスイッチを| (On) にして、エンジンを始動します。

### それでもエンジンが始動できない場合

ブレーキレバーを握るか、ブレーキペダルを踏み込みながらエンジンを始動します。

### N から D への切り換えができた場合

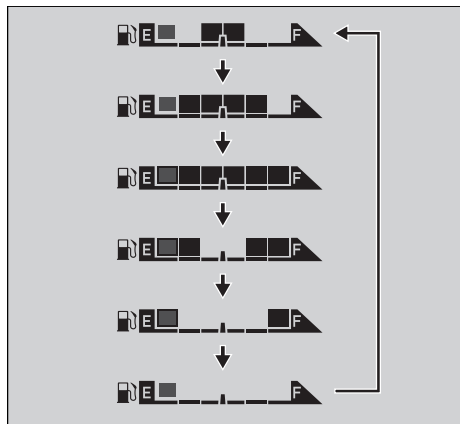
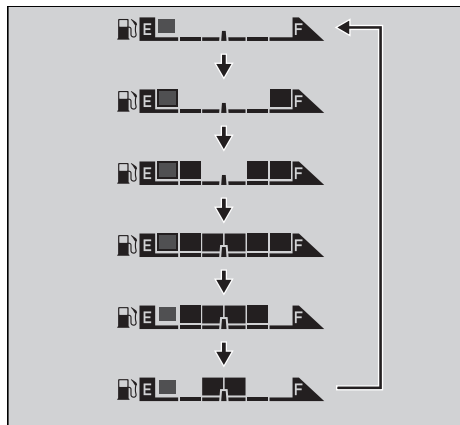
ギアポジション表示に表示されたギアで走行できます。  
安全な速度で走行してください。

### N から D への切り換えができなく、ギアポジション表示の“-”表示が点滅している場合

故障が考えられますので、エンジンを始動せず、直ちに Honda 販売店にご相談ください。

## 燃料計の故障表示

燃料計のマークが下図のように点灯、消灯をくりかえしたときは Honda 販売店にご相談ください。

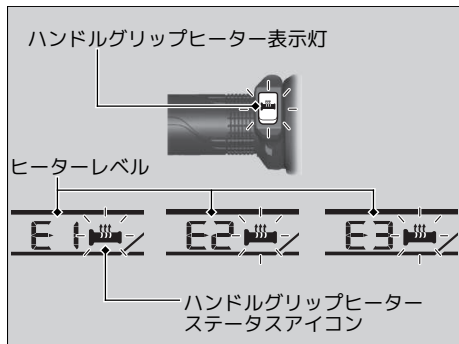


こんなときは

## ハンドルグリップヒーターの故障表示

ハンドルグリップヒーター表示灯が点滅し、ハンドルグリップヒーターステータスアイコンが“E1”、“E2”または“E3”表示で点滅したときは、ハンドルグリップヒーターの異状が考えられます。

表示が消えない場合は、Honda 販売店にご相談ください。

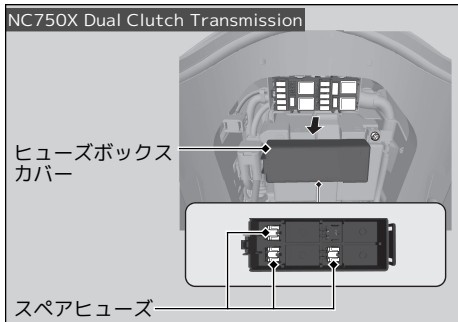
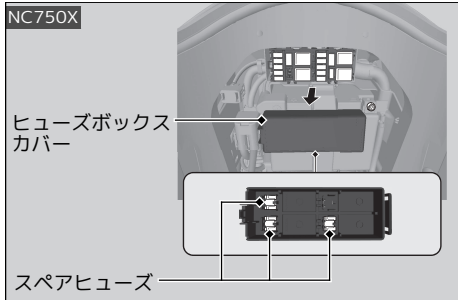


ヒューズの取り扱いについてはメンテナンスの基礎知識をご確認ください。▶P. 106

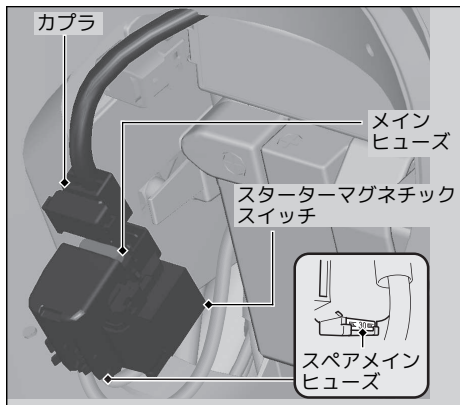
## ヒューズ切れ

### ■ヒューズボックス内のヒューズ

1. ラゲッジボックスを開ける。▶P. 94
2. メンテナンスリッドを取り外す。▶P. 115
3. ヒューズボックスカバーを取り外す。
4. ヒューズが切れている場合はヒューズプラーを使って、同じ容量のスペアヒューズと交換する。
  - ▶ ヒューズプラーは携帯工具の中に入っています。▶P. 95
  - ▶ スペアヒューズはヒューズボックスカバーの裏にあります。
5. ヒューズボックスカバーを取り付ける。
6. メンテナンスリッドを取り付ける。
7. ラゲッジボックスを閉じる。



## メインヒューズ



1. ラゲッジボックスを開ける。▶ P. 94
2. メンテナンスリッドを取り外す。▶ P. 115
3. バッテリーを取り外す。▶ P. 114
4. スターターマグネチックスイッチのカプラを外す。
5. メインヒューズが切れている場合はヒューズプラーを使って、同じ容量のスペアヒューズと交換する。
  - ▶ スペアヒューズはスターターマグネチックスイッチの下にあります。
  - ▶ ヒューズプラーは携帯工具の中に入っています。▶ P. 95
6. 外した部品を逆の手順で取り付ける。

### アドバイス

ヒューズが切れた際は、早めに Honda 販売店で点検し、スペアのヒューズを補充してください。

# インフォメーション

サービス診断記録装置について.....	P. 146
キーの取り扱い.....	P. 147
装備に関する補足情報.....	P. 148
車のお手入れ.....	P. 151
保管のしかた.....	P. 154
廃棄するとき.....	P. 154
フレームおよびエンジンナンバー.....	P. 157
触媒装置について.....	P. 158

## サービス診断記録装置について

この車には、システムを制御するためのコンピューターが搭載されており、次の内容をデータとして記録します。

- 故障診断状態
- 運転状態

Honda および Honda が委託した第三者は、記録されたデータを技術的な診断や Honda の車両の研究開発のために、取得、利用することがあります。なお、会話等の音声や映像は記録されません。

## キーの取り扱い

### メインスイッチのキー

メインスイッチのキーには、キータグが付属します。キータグにはシリアルナンバーとバーコードがあります。

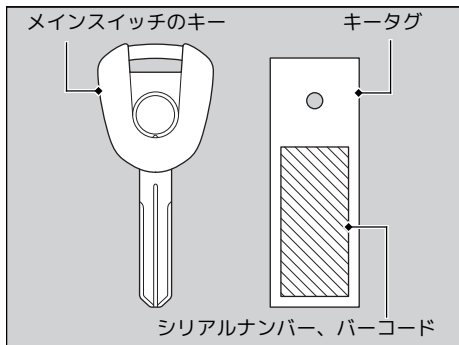
メインスイッチのキーには、HISS（イモビライザーシステム）の電子部品が内蔵されています。電子部品の破損またはデータ異常の発生を防ぐため、取り扱いの際には次のことをお守りください。

- キーを無理に曲げたり、強い衝撃を与えない
- 長時間、直射日光にさらしたり高温下で放置しない
- 削ったり、穴を開けない
- 強い磁気を帯びた場所に置かない

キー、キータグをすべて紛失した場合、イグニッションユニットの交換が必要になります。予備のキー、キータグは大切に保管してください。

予備のキーの作成については、専用のキーおよびHISSの再登録が必要になりますので、Honda 販売店にご相談ください。

キーに金属製のキーホルダーを使用するとメインスイッチ周辺に傷がつくおそれがあります。



## 装備に関する補足情報

### ■ メインスイッチ

エンジンをかけずにメインスイッチを| (On) の状態にしておくとはバッテリーあがりの原因となります。

走行中はメインスイッチのキーを操作しないでください。

### ■ エンジンストップスイッチ

このスイッチは、非常時に、すぐにエンジンを止めるために設けたものです。非常時以外は使用しないでください。走行中に操作すると、エンジン回転が不安定になり、走行に悪影響を与えます。

非常時にこのスイッチでエンジンを止めた場合は、メインスイッチを必ず○ (Off) にしてください。| (On) のままにしておくとは、バッテリーあがりの原因となります。

### ■ オドメーター

オドメーターは、999,999 km を超えると 999,999 km でロックします。

### ■ トリップメーター

トリップメーター A/B は、9,999.9 km を超えると 0.0 km に戻ります。

### ■ アシストスリッパークラッチシステム

#### NC750X

アシストスリッパークラッチは、走行時のシフトダウンによる急激なエンジンブレーキを緩和することで、リヤタイヤのロックを防ぎ、クラッチ操作を容易にするシステムです。

エンジンオイルは MA 分類のものを使用してください。MA 分類以外のエンジンオイルを使用すると、アシストスリッパークラッチシステムの故障の原因になります。

## ■ タコメーター

タコメーターの色は直射日光や周囲の明るさによって識別しづらい場合があります。

## ■ HISS

HISS は、登録されたキー以外ではエンジンを始動できないようにしたイモビライザー（盗難防止）システムです。

エンジンストップスイッチが○（Run）の状態メインスイッチを■（On）にすると、HISS 表示灯が点灯し、数秒後に消灯することでエンジンの始動が可能であることを示します。消灯しない場合は始動できません。

**HISS 表示灯が消灯しないとき** ■ P. 134

HISS 表示灯は、メインスイッチを○（Off）にしたあと 2 秒間隔の点滅を開始し、24 時間経過すると消灯します。

メーターの設定機能を使用して、HISS 表示灯の点滅／非点滅の切り換えを行うことができます。

**メーターの設定** ■ P. 36

## ■書類入れ

取扱説明書、登録書類、保険証、メンテナンスノート、ETC 車載器取扱説明書などは書類入れに入れ、メンテナンスリッドの上にバンドで収納してください。

## ■イグニッションカットオフシステム

この車は、転倒したとき、自動的にエンジンを停止するシステムが装備されています。エンジンを再始動するときは、システムの作動を解除するためにメインスイッチを一度○（Off）にしてください。

## ■スロットルバイワイヤシステム

この車は、スロットルバイワイヤシステムが装備されています。磁化されているものや磁気の干渉を受けやすいものは、右側のハンドルスイッチ周辺に近づけないでください。

## ■ヘッドライト、ストップ/テールランプ、フロントウィンカー、リアウィンカー、ポジションランプ、ライセンスプレートライト

LED 使用のライトは一体式です。

もし、1 個でも点灯しなくなった場合は、Honda 販売店にご相談ください。

## 車のお手入れ

お車を長持ちさせるため、清掃などのお手入れは大切です。普段見逃しがちな異状の発見にもつながります。また、海水や路面凍結防止剤などに含まれる塩分は、車体のサビを促進します。海岸付近や凍結防止剤を散布した路面を走行したあとは、必ず洗車してください。

### 洗車

エンジン、マフラー、ブレーキなど高温になる部分は冷えるまで洗車しないでください。

1. 全体を水洗いして、汚れを取り除く。
2. 汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を使用し、スポンジが柔らかいタオルを使って洗う。
  - ▶ 傷を防ぐため、多量の水を使って、汚れを落としてください。
3. 十分な水で洗剤を洗い流しやわらかい布で拭きあげる。
4. 車体を乾燥させた後、ドライブチェーンと可動部分に注油する。
5. 車体の腐食を防ぐためワックスがけを行う。

### 洗車にあたっての注意

洗車するときは、次のことをお守りください。

- 高圧洗車機の使用はさける
  - ▶ 車体に高い水圧がかかる洗車を行うと、可動部や電装部品などの作動不良や故障の原因となることがあります。
  - ▶ ヘッドライトレンズやフェアリング、その他のプラスチック部品を洗うときは、傷を防ぐため、多量の水を使って、汚れを落としてください。
- マフラーに水を入れない
  - ▶ 始動不良やサビの発生などの原因になります。
- エアインテークやエアクリナー周辺に水を強くかけない
  - ▶ エアクリナー内部に水が入ると、始動不良などの原因になります。
- ブレーキを濡れたままにしない
  - ▶ 水によってブレーキの効き具合が悪くなる可能性があります。洗車後は十分に乾かし、慎重なブレーキ操作を心がけてください。

- ワックス、ケミカル類や油脂類を扱うとき
  - ▶ ブレーキやタイヤにオイル等の油脂類、ワックスやケミカル類が付着しないよう注意してください。ブレーキが効かなくなり、事故の原因になる場合があります。
  - ▶ ワックスやケミカル類を使用するときは、ボディーが目立たないところでくもりや傷、色むらなどが生じないか確認してください。種類によっては塗膜が薄くなったり色むらが生じるものがあります。
  - ▶ つや消し塗装が使われている場合は、塗装面にワックスやケミカル類を使用すると、つや消し感が無くなったり、色むらが生じるおそれがありますので、使用しないでください。

- ヘッドライトがくもったとき
  - ▶ ヘッドライトは雨天走行や洗車などにより、レンズ面が一時的にくもることがあります。また、ヘッドライト内と外気との温度差により、レンズ内面が結露することもあります。これは、雨天時などに窓ガラスがくもると同様の自然現象で、機能上の問題ではありません。また、ヘッドライトの構造上、レンズの縁に水滴が付着することがありますが、機能上の問題ではありません。但し、ヘッドライト内に水がたまっている場合や大粒の水滴がついている場合は Honda 販売店にご相談ください。

## アルミ部品

アルミ部品は土や泥、あるいは塩分によって腐食します。傷をつけないよう、取り扱いについては次のことに注意してください。

- 硬いブラシやスチールウールを使用しない
- アルミホイールはすり当てをさけ、縁石などに乗り上げる際は変形に注意する

## 樹脂部品

傷やひび割れ等を防ぐため、取り扱いについては次のことに注意してください。

- 清掃するときは多量の水を使って、やわらかい布やスポンジで汚れを落とす
- 汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を使用し、十分な水で洗剤を洗い流す
- メーター、スクリーン、フェアリング、ヘッドライトレンズなどの樹脂部品にガソリン、ブレーキ液、クリーナーなどがかからないようにする

## エキゾーストパイプ、マフラー

ステンレス鋼を使用していますので、油脂などの汚れが付着したままエンジンを始動すると、焼けムラが起きます。

汚れが付着した場合は、ステンレス用台所洗剤を使って、やわらかい布かスポンジで洗い落としてください。洗浄後は、十分に水洗いして乾いた布で水分を拭き取ってください。

焼けムラをとる場合は、市販の細目のコンパウンドで磨いたあと、汚れが付着した場合と同じ要領で洗い落としてください。

エキゾーストパイプ、マフラーが塗装されている場合は、ステンレス用台所洗剤や市販のコンパウンドを使用しないでください。塗装面の清掃には中性洗剤を使用してください。もし、塗装処理されているかわからない場合は、Honda 販売店にご相談ください。

## アドバイス

ステンレス鋼を使用している場合でも、塗装をしているものもあります。

目立たないところでくもりや傷、色むらなどが生じないか確認してください。

## 保管のしかた

屋外に保管する場合はボディーカバーをかけてください。なお、ボディーカバーはエンジンやマフラーが冷えてからかけてください。

また、長期間ご使用にならない場合は、次のことをお守りください。

- サビを防ぐために、保管前にワックスがけを行う（つや消し塗装面を除く）
- 雨上がりにはボディーカバーを外し、車体を乾燥させる
- バッテリーは自己放電と電気漏れを少なくするため、車から取り外し、完全充電して風通しのよい暗い場所に保存する
  - ▶ もしバッテリーを車に積んだままにする場合は、⊖側ターミナルを外してください。

長期保管後にお車に乗る際は、保管期間を考慮した上で、各部の点検を実施してください。

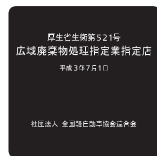
## 廃棄するとき

地球環境を守るため、お車や交換した部品、なかでも使用済みのバッテリーやタイヤ、エンジンオイルの廃油等はむやみに捨てないでください。これらのものを廃棄する場合は、Honda 販売店にご相談ください。

また、将来お車の廃棄を希望するときはお近くの廃棄二輪車取扱店へご相談ください。

### 廃棄二輪車取扱店とは

一般社団法人 全国軽自動車協会連合会の登録販売店で広域廃棄物処理指定店として登録されている廃棄二輪車を適正処理するための窓口です。店頭に「廃棄二輪車取扱店の証」が掲示されています。



## 二輪車リサイクルマーク、リサイクル料金

この車には、二輪車リサイクルマークが車体に貼付されています。マークが車体に貼付されている二輪車は、再資源化するためのリサイクル費用がメーカー希望小売価格に含まれていますので、二輪車を廃棄する際は、再資源化に必要なリサイクル料金はいただきません。

ただし、廃棄二輪車取扱店および指定引取場所までの収集・運搬料金はお客様のご負担となります。収集・運搬料金については廃棄二輪車取扱店にご相談ください。

二輪車リサイクルマークは、ラゲッジボックスを開けると確認できます。▶ P. 94



お車を廃棄する際、二輪車リサイクルマークが必要です。マークは剥がさないでください。マークの再発行や販売の取り扱いはありません。二輪車リサイクルシステムの概要、ご利用方法等は、Hondaウェブサイト「廃棄段階のリサイクル 二輪車リサイクル自主取り組み」にてご確認ください。  
<http://www.honda.co.jp/motor-recycle/>

## ダンパーユニット

リアサスペンションのダンパーユニットには、高圧窒素ガスが封入されています。廃棄する場合は、Honda 販売店にご相談ください。

## 警告

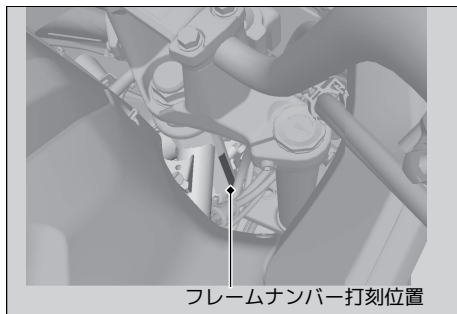
高圧窒素ガスが封入されたダンパーユニットを火中に入れたり、穴を開けたり、分解したりすると、爆発や破裂するおそれがあり、死亡または重大な傷害に至る可能性があります。

ダンパーユニットは、

- 火中に入れないでください。
- 穴を開けないでください。
- 分解しないでください。

## フレームおよびエンジンナンバー

フレームおよびエンジンナンバーは、部品を注文するときや、車の登録に関する手続きに必要です。また、フレームナンバーは、お車が盗難にあった場合に、車を捜す手がかりにもなります。ナンバープレートの登録番号とともに別紙に記録し、車と別に保管することを推奨します。



## 触媒装置について

この車は平成 32 年排出ガス規制適合車です。この車には触媒装置が搭載され、排出ガスに含まれる一酸化炭素（CO）、炭化水素（HC）、窒素酸化物（NOx）の 3 つの有害物質の排出量を低減します。他のマフラーをこの車に取り付けると、排出ガス規制に適合しなくなる可能性があります。触媒装置は高温になるので、枯れ草や紙など燃えやすいものがあるところには駐停車しないでください。

### 走行上の注意

次のような取り扱いはしないでください。触媒温度が異常に高くなり、損傷するおそれがあります。

- 走行中にメインスイッチやエンジンストップスイッチを操作すること
- 空ぶかし直後にエンジンを止めること

### 触媒装置の損傷を防ぐために

触媒装置が損傷すると、排出ガス濃度を劣化させるだけでなく、車本来の性能を発揮できなくなります。損傷を防ぐために、次のことをお守りください。

- 燃料は、必ず無鉛ガソリンを使用する
- 定められた点検整備を実施する
- エンジン不調を感じたときは、直ちに Honda 販売店で点検を受ける

# スペック

## ■ 主要諸元

型式	8BL-RH09
全長	2,210 mm
全幅	845 mm
全高	1,330 mm
ホイールベース	<b>NC750X</b>
	1,525 mm
最低地上高	<b>NC750X Dual Clutch Transmission</b>
	140 mm
キャスト	27° 00'
トレール長	110 mm
車両重量	<b>NC750X</b>
	214 kg
乗車定員	<b>NC750X Dual Clutch Transmission</b>
	224 kg
乗車定員	2 名
最小回転半径	3.0 m
排気量	745 cm <sup>3</sup>
ボア×ストローク	77.0 x 80.0 mm
圧縮比	10.7:1
燃料	無鉛レギュラーガソリン
燃料タンク容量	14 ℓ
バッテリー容量	YTZ12S
	12 V-11 Ah (10 HR)

変速比	1 速	2.666
	2 速	1.904
	3 速	1.454
	4 速	1.178
	5 速	0.967
	6 速	0.815
<b>NC750X</b>		
減速比	1 次	1.731
	2 次	2.687
	<b>NC750X Dual Clutch Transmission</b>	
	1 次	1.921
	2 次	2.411

■ サービスデータ

クラッチレバーの遊び	<b>NC750X</b>	10 - 20 mm
タイヤサイズ	前輪	120/70ZR17M/C(58W)
	後輪	160/60ZR17M/C(69W)
タイヤタイプ	ラジアル、チューブレス	
指定タイヤ	前輪	DUNLOP D609F
		METZELER TOURANCE NEXT N
	後輪	DUNLOP D609
		METZELER TOURANCE NEXT
タイヤ空気圧	前輪	250 kPa (2.50 kgf/cm <sup>2</sup> )
	後輪	290 kPa (2.90 kgf/cm <sup>2</sup> )
最小残溝量	前輪	1.5 mm
	後輪	2.0 mm
点火プラグ	標準	IFR6G-11K (NGK)
プラグギャップ	(調整不可)	1.00 - 1.10 mm
アイドル回転数	1,200 ± 100 rpm	
推奨エンジンオイル	Honda 純正 ウルトラ G1	
	JASO T 903 規格: MA	
	SAE 規格: 10W-30	
	API 分類: SL 級	

エンジンオイル容量	<b>NC750X</b>	
	オイル交換時	3.4 ℓ
	フィルター交換時	3.6 ℓ
	全容量	4.0 ℓ
	<b>NC750X Dual Clutch Transmission</b>	
	オイル交換時	3.1 ℓ
	フィルター (エンジン) 交換時	3.4 ℓ
	フィルター (エンジンとクラッチ) 交換時	3.4 ℓ
	全容量	4.0 ℓ
	エンジンオイル交換時期	初回: 1,000 km または 1 ヶ月 以後: 10,000 km または 1 年ごと
指定ブレーキ液	Honda 純正ブレーキフルード DOT4	
冷却水容量	全容量	1.69 ℓ
指定ラジエーター液	Honda 純正ウルトララジエーター液	
エアクリーナー		
エレメント	交換: 40,000 km ごと	
交換時期		
推奨ドライブチェーンオイル	Honda 純正チェーンオイルまたは相当品	
ドライブチェーンの緩み (たるみ)	25 - 35 mm	

**■ バルブ（電球）**

ヘッドライト	LED
ポジションランプ	LED
ストップ/テールランプ	LED
フロントウィンカー・ポジションランプ	LED
リアウィンカー	LED
ライセンスプレートライト	LED

**■ ヒューズ**

メインヒューズ	30 A
その他のヒューズ	30 A、15 A、10 A

- A**  
ABS 警告灯 ..... 61  
ABS (アンチロックブレーキシステム) ..... 5, 138  
AT モード ..... 85, 87, 88  
AT/MT スイッチ ..... 85, 88
- D**  
D 値 (DCT モード) ..... 75
- E**  
EB 値 (エンジンプレーキレベル) ..... 75  
ETC アンテナ ..... 100  
ETC 車載器 ..... 100  
ETC 表示灯 ..... 63, 100
- H**  
HISS 表示灯 ..... 62, 149
- L**  
LINE モード ..... 45
- M**  
MODE ボタン ..... 16, 68, 69  
MT モード ..... 85, 87, 89
- N**  
N-D スイッチ ..... 70, 85, 88
- P**  
P 値 (エンジン出力レベル) ..... 75  
PGM-FI 警告灯 ..... 63, 137
- S**  
SEL ボタン ..... 16, 68, 69
- T**  
T 値 (トルクコントロールレベル) ..... 75
- ア**  
アクセサリ ..... 10  
アシストスリッパークラッチシステム ..... 148  
安全運転のために ..... 3  
安全上守っていただきたいこと ..... 3

安全なライディング ..... 2

## イ

イグニッションカットオフシステム ..... 150

インフォメーション ..... 145

## ウ

運転するときの注意 ..... 5

## エ

エアクリナー ..... 108

## エンジン

EB 値（エンジンブレーキレベル） ..... 75

P 値（エンジン出力レベル） ..... 75

エンジンオイル ..... 107, 118

エンジン始動 ..... 79

エンジンストップスイッチ ..... 148

エンジンナンバー ..... 157

エンジンブレーキ ..... 6

エンジンがかからないとき ..... 134

## オ

オーバーヒート ..... 135

お手入れ ..... 151

オドメーター ..... 24, 148

## カ

改造 ..... 10

各部の名称 ..... 12

ガソリン ..... 8, 92

カラーラベル ..... 104

## キ

ギアチェンジ ..... 83

ギアポジション表示 ..... 19

## ク

### クラッチ

クラッチ ..... 126

クラッチレバー ..... 126

クラッチレバーの遊び ..... 126

クリップ ..... 113

<b>ケ</b>	
経過時間 .....	26, 33
<b>警告灯</b>	
ABS (アンチロックブレーキシステム) 警告灯 .....	138
PGM-FI 警告灯 .....	137
水温警告灯 .....	61
トルクコントロール警告灯 .....	139
油圧警告灯 .....	60, 136
<b>携帯工具</b> .....	95
<b>減算トリップメーター</b> .....	24
<b>コ</b>	
交換部品 .....	104
こんなときは .....	133
<b>サ</b>	
サイドスタンド .....	6
サスペンション .....	132
<b>シ</b>	
シフトアップスイッチ (+) .....	69, 89

シフトダウン .....	83
シフトダウンスイッチ (-) .....	69, 89
<b>瞬間燃費</b> .....	30
<b>触媒装置</b> .....	158
<b>書類入れ</b> .....	95, 150

## ス

### スイッチ

A/M スイッチ .....	70
AT/MT スイッチ .....	85, 88
N-D スイッチ .....	85, 88
ウィンカー (方向指示器) スイッチ .....	64, 66
エンジンストップスイッチ .....	65, 67, 148
シフトアップスイッチ (+) .....	89
シフトダウンスイッチ (-) .....	89
スタータースイッチ .....	65, 67
ハザードスイッチ .....	64, 66
パッシングライトスイッチ .....	64, 66
ハンドルグリップヒータースイッチ .....	97
ヘッドライト (前照灯) 上下切り換えスイッチ .....	64, 66
ホーンスイッチ .....	64, 66

スピードメーター.....	17
スペック.....	159
スロットル.....	130

## セ

積載について.....	11
洗車.....	151

## ソ

走行時間.....	33
その他装備の使いかた.....	94

## タ

タイヤ.....	110
タコメーター.....	17, 149

## チ

駐車.....	6
---------	---

## テ

ディスプレイの設定.....	35
デュアルクラッチトランスミッション.....	85

## 点検

定期点検.....	103
日常点検.....	102
電装部品のトラブル.....	143

## ト

時計.....	17, 40
ドライブチェーン.....	109, 125
トリップメーター.....	24, 26, 148
トルクコントロール OFF 警告灯.....	60
トルクコントロール警告灯.....	60

## ナ

慣らし運転.....	5
------------	---

- ネ**
- 燃料**
- 使用燃料 ..... 93
  - 燃料計 ..... 18
  - 燃料計の故障表示 ..... 141
  - 燃料残量 ..... 18
  - 燃料タンク容量 ..... 93
  - 燃料補給 ..... 92
  - 燃料消費量** ..... 31
- ハ**
- パーキングブレーキ ..... 72, 124
  - パーキングブレーキ警告灯 ..... 63
  - パーキングブレーキレバー ..... 124
  - 廃棄** ..... 154
  - バッテリー ..... 105, 114
  - ハンドルグリップヒーター
    - 故障表示 ..... 142
  - ハンドルロック ..... 71
- ヒ**
- 日付 ..... 24, 39
- ヒューズ** ..... 106, 143
- 表示灯**
- ETC 表示灯 ..... 100
  - HISS 表示灯 ..... 149
  - ニュートラル表示灯 ..... 61
  - ハイビームパイロットランプ ..... 61
  - 方向指示器表示灯 ..... 62
- フ**
- 服装** ..... 4
- ブリーザードレン** ..... 109, 129
- ブレーキ**
- 使いかた ..... 5
  - パーキング ..... 72, 124
  - ブレーキ液 ..... 108, 122
  - ブレーキパッド ..... 123
  - ブレーキレバー ..... 131
- フレームナンバー** ..... 157
- へ**
- 平均速度** ..... 26, 32
  - 平均燃費** ..... 26, 30

ヘルメットホルダー .....	96
ヘルメットホルダー ワイヤー .....	96, 96

## ホ

保管 .....	154
----------	-----

## マ

マルチカラーライン .....	45, 52
-----------------	--------

## メ

メインスイッチ .....	65, 67, 148
メインスイッチのキー .....	147
メーター .....	16
メンテナンス .....	101
メンテナンスリッド .....	115

## ユ

油圧警告灯 .....	136
-------------	-----

## ラ

ライディングモードの選択	
D 値 (DCT モード) .....	75

EB 値 (エンジンプレーキレベル) .....	75
P 値 (エンジン出力レベル) .....	75
T 値 (トルクコントロールレベル) .....	75
ライディングモード .....	20
ラゲッジボックス .....	94

## リ

リアシート .....	92
リサイクルマーク .....	155
リザーブトリップメーター .....	25
リザーブ燃料消費量 .....	34

## レ

冷却水 .....	108, 120
レッドゾーン .....	17

## ロ

ロアーフェアリング .....	116
-----------------	-----



# お問い合わせ

お車についてのお問い合わせ、ご相談は、まず Honda 販売店にお気軽にご相談ください。

販売店

TEL

お問い合わせ、ご相談は、全国共通のフリーダイヤルで下記のお客様相談センターでもお受けいたします。

**本田技研工業株式会社 お客様相談センター**

オーハローバイク  
フリーダイヤル **0120-086819**

受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00

〒351-0188 埼玉県和光市本町8-1

所在地、電話番号が変更になることがありますのでご了承ください。

お車に関してお問い合わせいただく際は、お客様へ正確、敏速にご対応させていただくために、あらかじめ、お手元にお車の車検証や届出済証などの登録書類をご準備いただき、下記の事項をご確認のうえ、ご相談ください。

- ①車両型式、車台番号、エンジン型式、登録番号、登録年月日
- ②車種名、タイプ名、走行距離
- ③ご購入年月日
- ④販売店名

**HONDA**  
The Power of Dreams

**NC750X**  
**NC750X Dual Clutch Transmission**

30MKW600  
00X30-MKW-6000



00X30-MKW-6000

Ⓐ 1000.2021.01.M  
© 2021 本田技研工業株式会社